

カラーインクジェットプリンタ **TS55-1800**

取扱説明書



取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。





目次

ご注意	. v
ご注意	v
おねがい	v
電波障害自主規制	v
テレビ / ラジオの受信障害について	v
はじめに	. v
本書について	v
安全にお使いいただくために	.vi
マーク表示について	. vi
安全インターロックについて	. ix
警告ラベルについて	. x

第1章 ご使用の前に

本機の移動	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-2
本機の移動	1-2
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面	1-4
装置背面 / 側面	1-5
操作パネル	1-6
メディアセンサー	1-8
キャリッジ	1-8
カッター刃とカット溝	1-8
	1-8
ケーフルを接続する	1-9
LAN ケーブルを接続する	1-9
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-10
電源ケーブルを接続する	1-11
インクをセットする	1-11
インクパック取り扱い上のご注意	1-15
メディアについて	1-16
使用可能メディアサイズ	
メディア取り扱い上の注意	
メニューモードについて	1-17

第2章

基本的な使い方

作業の流れ	2-2
電源を入れる/切る	2-3
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-3
メディアをセットする	2-4
ヘッド高さを調整する	2-4

ロールメディアをセットする	2-5
巻取装置について	2-8
原点を変更する場合は	2-9
ヒーターの準備をする	2-9
ヒーターの温度設定を変更する	2-9
テストプリントをする	2-10
テストプリントを行う	2-10
ヘッドクリーニング	2-11
ヘッドクリーニングについて	2-11
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う.	2-11
フィード補正の設定	2-11
フィード補正の設定	2-11
	2-12
フィード補正の設定 (プリント条件別)()	2-12
ドットの位置がずれたら	2-12
データをプリントする	2-13
プリントを開始する	2-13
プリントを中止する	
受信したデータを消去する(データクリア)	2-13
メディアをカットする	2-13

第**3**章 セットアップ

ローカル設定メニューについて	3-2
設定メニューー覧表	3-2
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-4
フィード補正の設定	3-4
ドットの位置がずれたら	3-5
ヒーターの設定	3-6
ロジカルシークの設定	3-6
重ね塗りの設定	3-7
乾燥時間の設定	3-7
マージン(左/右)の設定	3-7
ノリント中リノレッシュ	3-8
吸着ノアンの設定	
ノイート迷度の設定	
オートクリーニングの設定	
外部レーターの設定 MARS4 の部中	
MAPS4 の設定 パフ関連度対正	
ハス间辰反柵止 プリフィードの設定	
シウシイ 1000足 いたタイプタ称の恋雨	
マシン設定メニューについて	
マシン設定メニューー覧表	
オートパワーオフの設定	
巻取ユニットの設定	3-15
トップブロワの設定	3-15
メディア残量表示の設定	3-15
メディア検出の設定	3-16
言語の設定	3-16
時刻の設定	3-16

単位(温度 / 長さ)の設定	3-16
キーブザーの設定	3-17
確認フィードの設定	3-17
プリント間の余白の設定	3-17
余白フィード方式の設定	3-17
ネットワークの設定	3-18
イベントメール機能の設定	3-18
自動リモート	
四一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
カット前フィード	
設定した内容を初期状態に戻す	
ノズルチェックメニューについて	
ノズルチェックメニューー覧表	
印刷中チェックの流れ	
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作	3-25
印刷中チェックの設定	3-26
自動ノズルリカバリの設定	
判定条件の設定	
情報メニューについて	
情報メニューー覧表	
情報を表示させる	
メンテナンス状態を表示する(ローカルガイダンス)	

第**4**章 お手入れ

日常のお手入れ	
お手入れ上のご注意	4-2
メンテナンス洗浄液について	4-2
外装のお手入れ	4-2
プラテンの清掃	4-2
メディアセンサーの清掃	4-3
メディア押さえの清掃	4-3
吹付フィルターの洗浄	
メンテナンスニューについて	
メンテナンスメニューー覧表	4-6
キャッピングステーションのメンテナンス	4-7
ワイパーの清掃	4-7
キャップの清掃	4-8
キャップ吸収材の清掃	4-8
ノズル洗浄	4-9
インク排出路の洗浄	4-10
長期間使用しない場合	4-10
ヘッド周辺の清掃	
ノズルリカバリ機能	
設定値をリセットする	4-14
リカバリできない条件を確認する	4-14
テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する	4-15
オートメンテナンス機能	
リフレッシュ間隔を設定する	4-15
クリーニング間隔とタイプを設定する	

消耗品の交換	4-16
ワイパーを交換する	4-16
ワイパークリーナーを交換する	4-17
キャップを交換する	4-18
キャップ吸収材を交換する	4-18
メディア押さえを交換する	4-19
ピンチローラーを交換する	4-20
スパウトゴムを交換する	4-21
キャリッジフィルターを交換する	4-22
MBIS オスコネクタ吸収材を交換する	4-23
吹付ファンフィルターを交換する	4-23
カッター刃を交換する	4-24
端面ガイドフィルムを交換する	4-24
廃インクタンクの管理	4-25
廃インク量の補正	4-25
タンク容量の変更	4-25
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-25
廃インクタンクを交換する	4-25

第5章 困ったときは

故障かな?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-2
ヒーターの温度が設定値まで上昇しない	5-3
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インクの状態に異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-4
メッセージを表示するトラブル	5-5
ワーニングメッセージ	5-5
エラーメッセージ	5-11

第 6 章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクカートリッジのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5
LICENSE Library	6-6



ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本機の使用または使用不能から生ずるいかなる 損害(逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭 的損害を含み、これらに限定しない)に関して一切の責任 を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

ー例として、本機を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、 または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切 その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- ・本書は、内容について十分注意しておりますが、万一 ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営 業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

本機は、クラス A 情報技術装置です。本機を家庭で使用 すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合に は使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあ ります。

VCCI-A

テレビ/ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が 不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレ ビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特 殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。 本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、 本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害 が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試 しください。

- ・テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の 発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置して ください。
- •この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタ TS55-1800 を お買いあげいただき、誠にありがとうございます。 TS55-1800」は、1.8m 幅のメディアに昇華転写インク (4 色/6 色/7 色/8 色) でプリントする、高画質に対応したカ ラーインクジェットプリンタです。

本書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ TS55-1800」 (以後本機と称します)の操作やメンテナンスなどの取 り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に 届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、
 万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業
 所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
 ご了承ください。
- 本書が焼失/破損などの理由により読めなくなった場合は、弊社営業所にてお買い求めください。
- 本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロー ドできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。 ©株式会社ミマキエンジニアリング All Rights Reserved.Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味を理解し、本機を安全に正しくお使いください。

記号	名称	説明	
▲警告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷のおそれがある内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使い ください。	
⚠注意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の負 傷のおそれがある内容を示しています。	
注記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生する おそれがある内容を示しています。	
	一般警告図記号	注意しなければならない事項を示しています。具体的な注意事項は図 の中に描かれます。	
	一般強制指示図記号	実行しなければならない事項を示しています。具体的な指示内容は図の中に描かれます。	
\bigcirc	一般禁止図記号	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は図の中に描 かれます。	
	ヒント	参考情報を示しています。	
(Z)	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。 文字をクリックすると該当ページが表示されます。	

使用上の警告と注意



使用上のご注意







定期交換部品について

 本機は、定期的にいくつかの部品を交換する必要があります。弊社 サービスまたはお買い上げの販売店とアフターサービスの契約を 行い、未永く安全に本機をご使用になることをお勧めします。

本機の廃棄について

本機を廃棄するときは、お買い上げの販売店か弊社サービスにご相 談ください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄 物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。

メンテナンス上の注意

本機は、ほこりの少ない部屋で使用することをお勧めします。

 プリントをしていないときは、フロントカバーを閉じておいてください。開けたままにしておくと、ヘッドやノズルにほこりが付着し、 プリント中にインク滴が突然メディアに落ちる場合があります。 このような場合は、ヘッドの清掃をしてください。

 インクステーションやヘッドを清掃するときは、必ず付属の手袋と 保護メガネを着用してください。

本機の状態を良好に保つため、ワイパーとキャップの清掃をこまめ に行い、ほこりや紙粉を取り除いてください。

設置上のご注意



安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合 に動作を中断させるためのインターロックがついていま す。

(下図の赤丸部分)



警告ラベルについて

本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。 なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求 めください。



No.	注文番号	ラベル	説明
1	M910931	CAUTION ATTENTION ATTENTION ATTENTION COVER HAZARD Way read if severe input, When cook and dates line and with a cover until he cover, held a cover, held cover, held a cover, held cover, held a cover, hel	カバーが急落下する可能性が あります。 カバー開閉時はカバーの両端 から身体部分を離してくださ い。
2	M907833		キャリッジ可動部です。 指や体を近づけないでくださ い。
3	M903239		高温面です。 ヒーター部に触れないでくだ さい。
4	M903330		インクに触れる作業の際は、必 ず付属の保護メガネと手袋を 着用してください。
5	M903405		メディアカット可動部です。 指や体を近づけないでくださ い。
6	M907935	A	内部に危険電圧があります。
7	M905811		可動部分です。 指や体を近づけないでくださ い。
8	M906144		高温部分です。 部品に触れないでください。

第1章 ご使用の前に



この章では…

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

木櫟の移動	1-2
1237日11111111111111111111111111111111111	1_2
	. 1-2
使用環境温度について	. 1-2
本機の移動	. 1-2
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面	. 1-4
装置背面 / 側面	. 1-5
操作パネル	. 1-6
メディアセンサー	. 1-8
キャリッジ	. 1-8
カッター刃とカット溝	. 1-8
キャッピングステーション	. 1-8
ピンチローラーとフィードローラー	. 1-8

ケーブルを接続する LAN ケーブルを接続する USB2.0 インターフェイスケーブルを 1 10	1-9 1-9 E接続する
1-10 電源ケーブルを接続する インクをセットする インクパック取り扱い上のご注意 メディアについて 使用可能メディアサイズ	1-11 1-11 1-15 1-16 1-16
メニューモードについて	1-16

第1章 ご使用の前に



設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してくだ さい。

本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮 して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
TS55-1800	3240mm	713mm	1857mm	202kg



使用環境温度について

本機は安定したプリントを行うために、20~30℃の環 境でご使用ください。

本機の移動

本機をやむを得ず、段差のない同一フロアー内で移動する 場合は、下記のように行ってください。



・本機の移設の際は、弊社営業所または販売店まで ご連絡ください。 お客様が本機の移設を行うと、故障や破損の原因

になります。 本機の移設は、必ず専門の担当者におまかせくだ さい。



- 移動するときは、大きな振動を与えないでくださ
- l١, ・移動後は、必ずアジャスターフットを下げてくだ さい。







前脚部のアジャスターフットを付属のモン キーレンチで上げる。





F Ø $(\hat{\mathbf{n}})$



各部の名称とはたらきについて

装置前面



装置背面 / 側面



操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。





・電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが青に点灯し、オフにすると消灯します。主電源スイッチ
 (22 P.1-5)をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。
 (オートメンテナンス機能)

*1:インクの状態について

ディスプレイにインクカートリッジの状態(インク残量/エラーなど)をアイコンで表示しています。 各々のアイコンについて説明します。

アイコン	内容								
	インク残量を9段階で表示します。右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。								
M	M		M	M-	M-	M -	M -	- M -	- M -
	インクフル	約 1/8 消費	約 1/4 消費	約 3/8 消費	約 1/2 消費	約 5/8 消費	約 3/4 消費	約 7/8 消費	ニアエンド
- M -	インクエンド (4 色インクセット使用時のみ) やインクニアエンドになると表示します。								
	インクエンド す。	またはイング	ウエラー(カ	ートリッジラ	k装着など)!	状態で、カ-	-トリッジが	使用できなし	ことを表しま
	インクの消費 プリントする	有効期限が	辺れると表示 です。	iされます。 3	新しいインク	に交換する、	もしくは早	めに使い切	ってください。

*2: [FUNC1]~ [FUNC3] に割り当てられている機能

[FUNC1]~[FUNC3]に割り当てられている機能の内容を説明します。

アイコン	内容
MENU	各機能を設定する "MENU" が表示されます。
TEST PRINT CLEANING	テストプリント・クリーニング等のメンテナンス機能が表示されます。
REMOTE	ローカルで、リモートに移行し、プリントを開始します。
ADJUST	フィード補正、ドット位置補正等の調整機能が表示されます。
HEATER	ヒーター温度の設定を行います。
DATA CLEAR	データクリアを実行します。
LOCAL	リモートにてプリントを中断し、ローカルへ移行します。
СИТ	メディアカットを実行します。
>>	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
<<	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
ОК	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
OFF	ヒーター設定を OFF にする場合など、機能を OFF や無効にする場合に使用します。
$\underline{+}$	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
8	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効/無効を切替えます。

·Å.

本機の状態によって、アイコンの色は変化します。
 アイコンの色が緑色のとき:本機がリモートの状態になっている
 アイコンの色が紺色のとき:本機がローカルの状態になっているとき
 アイコンの色が黄色のとき:ワーニングが発生しているとき
 アイコンの色が赤色のとき:エラーが発生しているとき

1

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出 します。 プラテン上(背面側)にメディアセンサーが2箇所ありま

フラリフエ(育面風)にスティアセラリーが2 固所めりよ す。



 ・メディアをセットするときは、プラテン後部側に あるメディアセンサーを覆い隠すようにセットし てください。センサー上にメディアがないと、メ ディア検出を実行できません。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドやセットする メディアの幅を手動で設定するために使う"LEDポインタ "、メディアカット用のカッターユニットなどが内蔵され ています。

また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを調整するレバーがついています。(公) P.2-4)



カッター刃とカット溝

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニット が付いています。 プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。

Dッターユニット カッターユニット

キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドの メンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。 インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎま す。

ワイパーは、ヘッドのクリーニングに使用します。 ワイパーは、消耗品です。 ワイパーが変形したりメディア が汚れる場合は、新しいワイパーに交換(22°P.4-16)して ください。



 キャッピングステーション内をクリーニングする 場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して ください。目にインクが入る危険があります。



ピンチローラーとフィードローラー

本機は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメ ディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出し ます。



 本機を使用しない時は、ピンチローラーを上げた 状態にしておいてください。ピンチローラーを下 げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが 変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合 があります。







ケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続するときは、以下の注意事項を厳守してください。

- カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
- データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないでく ださい。

ネットワーク経由で印刷を行う場合

ネットワーク経由で印刷を行う場合、下記の環境でネット ワークを構築する必要があります。

不適切な環境で構築を行うと、印刷が停止する原因となり ます。

- カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
- ・データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないで
 ・ください。
- カテゴリー6以上のLANケーブルを使用する。
- 1000BASE-T 対応の PC、スイッチングハブを使用 する。



・印刷データを送信する PC とプリンタは同じネットワークとなるようにしてください。
 ・ルータを経由した接続はできません。





● スイッチングハブを経由して接続する場合



プリンタに接続したPC、機器が1000BASE-T以外の場合、 印刷できません。 接続後、以下を確認してください。

- (1) プリンタの画面表示を確認する。
 - ・ローカル画面、メディア検出画面から [ENTER] キーを数 回押し、情報画面を表示する。
 - ・LAN ステータスの項目に「1000Mbps」と表示されている ことを確認する。



[100Mbps], [10Mbps], [接続なし] と表示している場合、LANを使用して印刷を行うことができません。

• [100Mbps], [10Mbps] の場合、イベントメール (公73章「イベントメール機能の設定」) は使用 できます。



(2) LAN コネクタの緑ランプを確認する

 本体起動後、以下のように LAN コネクタのランプが点灯 します。

色	状態	状態
<u>4</u> ع	点灯	1000BASE-T で接続
术求	消灯	1000BASE-T 以外で接続
黄	点灯	リンクアップ
	点滅	データ受信中
	消灯	リンクダウン



・黄色のみが点灯もしくは点減している場合、
 1000Mbpsとなっていません。PC、機器、ケーブルの仕様を確認してください。

USB2.0 インターフェイスケーブルを接 続する



コンピュータと本機をUSB2.0インターフェイスケーブル で接続します。



 ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応 している必要があります。

USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

USB 2.0 インターフェイスについての注意 事項

 ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要が あります。

● 1 台のパソコンに複数の TS55-1800 を接続する場合

1 台のパソコンに TS55-1800 を複数台接続する場合、 TS55-1800 を正常に認識できない場合があります。 複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、 他の USB ポートに接続して TS55-1800 を認識でき るか確認してください。USB ポートを変えても TS55-1800 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータ ケーブルを使用してください。



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

TS55-1800 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など)を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。 外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに TS55-1800 を接続した場合、TS55-1800 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

TS55-1800 を接続してあるパソコンに USB メモリ を差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外 し」により「停止」させてから抜いてください。 [ERROR 10 コマンドエラー]発生の原因になります。 スプールデータをハードディスクにコピーした後、プ リント出力してください。



ICチップ

Ο

0







IC チップについて

- IC チップには、インクカラー やインク残量・使用期限などの情報が書き込まれています。、
- IC チップにはカラー情報を 表すマークが貼られていま す。



インクカラーと表示マーク			
インク カラー	表示マーク		
マゼンタ	(赤丸が1個)		
イエロー	(黄丸が1個)		
ライト マゼンタ	(赤丸が2個)		
ブルー	●● (青丸が1個/ 赤丸が1個)		
ライト ブルー	●●●●(青丸が2個/ 赤丸が1個)		
ライト ブラック	●●(黒丸が2個)		
蛍光 イエロー	(黄丸が2個)		
蛍光 ピンク	(橙丸が2個)		

2L インクパックを交換する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]な どが表示されたときは、次のようにしてください。



・2Lインクパックを交換するときは、保護メガネ を着用してください。 誤って、インクが目に入る可能性があります。

1

・使用後、インクパックに 10cc 程度のインクが残 りますが、実使用量が 2L になるよう充填されて います。







- ・2Lインクパック交換時、定期的にオス
 コネクタ吸収材(付属品)を交換することで、台座内の汚れを防止することができます。
 - ・ 2L インクパックの交換 5~10回に1回の割合で、吸収剤を交換してください。
 ・ 吸収剤交換時は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。





省

[インクニアエンド]表示中は、オートクリーニングは動作しません。(従了 P.3-9)

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの下にあるランプで、セット中のイン クカートリッジの状態を確認することができます。



ランプの状態	説明
青色に点灯	異常なし(インク供給中)
消灯	異常なし
黄色に点灯 または点滅	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクニアエンド ・インク期限切れ (1ヶ月)
赤色に点滅	インク期限切れ (2ヶ月)
赤色に点灯	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクエンド ・インク IC チップが挿入されていない ・その他のインクエラー (公子 P.5-10)

インク使用期限について

インクパックにインクの消費有効期限が記載されていま す。インクの消費有効期限を超えて使用すると、インクの 吐出不良や色の変化が生じるおそれがあります。消費有効 期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいイ ンクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めし ます。

例)消消費有効期限の記載が、2020年4月の場合

- 5月:新しいインクに交換する、もしくは早めに使い 切ってください。プリントすることは可能で す。
- 6月:新しいインクに交換する、もしくは早めに使い 切ってください。プリントすることは可能で す。(LED 黄点灯)

7月:プリントすることができません。(LED 赤点滅)

↓// ・ディスプレイにメッセージを表示してお知らせし ↓ ます。

名称について

本書では、2Lインクパック/2Lエコケース/インクICチッ プの 3 つを合わせて「インクカートリッジ」と言う名称 で説明しています。

RHC-

インクパック取り扱い上のご注意



- 本機には専用のインクパックをお使いください。 本機は、専用のインクパックを認識して動作しま す。インクパック等の改造により故障した場合 は、保証期間内であっても保証の対象外になりま d.
- インクパックを寒い所から暖かい所に移した場合 は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用 してください。
- ・インクパックは開封してから3カ月以内に使い 切ってください。開封後、長時間経過したものは プリント品質が低下します。
- ・インクパックは冷暗所で保存してください。
- ・インクパックは、子供の手の届かない場所に保管 してください。
- ・ 空になったインクパックは、 産業廃棄物の処理業 者に処理を依頼してください。
- 新規設置およびスパウトゴム新品交換時の注意点 ・スパウトゴム表面をメンテナンス液で十分に湿 らせてから差し込んでください。スパウトゴム を湿らさずにエコケースに差し込むと、ゴムが 破損する恐れがあります。

ノク種





 使いかけのインクパックを使用する際の注意点 ・インクパックのコネクタ内側に付着しているイ ンクを、綿棒で拭き取ってください。 コネクタの内側にインクが残ったままインク パックを差し込むと、インクパックを再び使用 するときにインク漏れの原因となります。











エス等)で覆ってから行ってください。 エコケースごと攪拌する場合

・スパウトゴムを不織布(ウエス等)で覆ってか ら攪拌してください。



振ったり、振り回したりすると、インクパックか らインクがもれることがあります。 インクパックのインクを詰め替えないでくださ い。故障の原因になります。また、インクを詰め 替えて使用したことによって生じた不具合につい て、弊社はいっさい責任を負いかねます。

インクパックは分解しないでください。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について 説明します。

使用可能メディアサイズ

	機種名	TS55-1800
推對	愛メディアの種類	転写紙
最大	大幅	1950mm
最/	小幅	210mm
最大	大プリント範囲	1940mm
	厚さ	1.0mm 以下
Γ γ	ロール外径	Φ250mm 以下 (紙メディア) Φ210mm 以下 (その他)
л Х	ロール重量	45kg 以下
=	紙管内径	2インチまたは3インチ
Ó	プリント面	ロール外側面
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。



・推奨メディアをご使用ください。 安定した高画質でプリントするには、弊社推奨の メディアをご使用ください。

- ・メディアの伸縮にご注意ください。
 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- メディアのフチのホコリにご注意ください。
 ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのボタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。



カールしたメディアは使用しないでください。
 紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メニューモードについて

本機には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。



メディアを検出する前のモードです。

ローカルモード

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。 全てのキーが有効です。 コンピュータから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。



ローカルでは以下の操作が可能です。

- ・ジョグキーを押して、プリント原点やプリント範囲を設定します。
- [ENTER] キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。

メニューモード

ローカル時に、[FUNC1] キーを押すとメニューモードになり、各機能を設定できます。

リモートモード

受信したデータをプリントします。

第2章 基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク/メデイアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ2-2	ヘッドクリーニング2-11
電源を入れる/切る2-3	ヘッドクリーニングについて
電源を入れる 2-3	テストプリントの結果に合わせて
電源を切る2-3	ヘッドクリーニングを行う
メディアをセットする2-4	フィード補正の設定2-11
ヘッド高さを調整する2-4	フィード補正の設定2-11
ロールメディアをセットする	ドットの位置がずれたら2-12
巻取装置について2-8	データをプリントする2-12
原点を変更する場合は2-9	プリントを開始する2-12
ヒーターの準備をする2-9	プリントを中止する2-13
ヒーターの温度設定を変更する	受信したデータを消去する
テストプリントをする2-10	(データクリア)2-13
テストプリントを行う	メディアをカットする2-13

作業の流れ

1	電源を入れる / 切る	「電源を入れる / 切る」(22° P.2-3) を参照してくだ さい。
2	メディアをセットする	「メディアをセットする」(颂PP.2-4)を参照してく ださい。
3	テストプリントをする	「テストプリントをする」(颂PP.2-10)を参照して ください。
4	ヘッドクリーニング	「ヘッドクリーニング」(☞ P.2-11) を参照してく ださい。
5	ドットの位置がずれたら	「ドットの位置がずれたら」(23° P.2-12) を参照し てください。





電源を切るときのご注意

● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入り ノズル詰まり防止機能(フラッシング機能)が働きま す。

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等の オートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原 因となります。

フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態
 にしてください。

カバーが開いていると、フラッシング等のオートメン テナンス機能が働かなくなります。

ヘッドの位置を確認してから電源を切ってくださ い。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない 状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まり の原因となります。 このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピン

グステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないこと があります。

[END/POWER]キーで電源を切ってから、主電源ス イッチを切ってください。

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチ を切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消え ていることを確認してから主電源スイッチを切って ください。

メディアをセットする

本機では、ロールメディアをご使用になれます。 使用できるメディアについては、(20°P.1-16「使用可能メ ディアサイズ」を参照してください。



 ロールメディアをセットするときは、メディアを 足などに落とさないように注意してください。メ ディアの重みで怪我をすることがあります。

 ロールメディアをセットする場合は、2人以上で セットしてください。ロールメディアの重みで腰 を傷める可能性があります。



 ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に 行ってください。メディアをセットしたあとに調 整すると、メディア詰まりやプリント品質の低 下、ヘッドの破損の原因となります。

- 本機ではメディアを右寄せまたは中央にセットできます。メディアをセットする際は、本体背面に2カ所あるメディアセンサーのどちらか一方を必ず覆うようにセットしてください。
- ・メディアを中央にセットする場合、巻き取り延長 ケーブルを使用してください。
- 使用目的に応じヘッド高さを調整してください。

ヘッド高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

- ヘッドの高さは3段階に調整できます。
- ヘッドの高さを変更した場合、ノズル抜けを防止するために自動的にクリーニングを行う場合があります。
- ヘッドの高さを変更した場合、ワイパーの交換が必要になることがあります。



ローカルで、_{FUNC1} (MENU) を押す。

2 ●
 ●
 を押して "メンテナンス"を選び、
 ENTER キーを押す。

メンテナンスメニューが表示されます。



 ▲ ▼を押して"ステーションメンテ"を 選び、ENTER キーを押す。
 ▲ ▼を押して"キャリッジアウト"を選



5

を選び、ENTER キーを押す。

キャリッジがプラテン上に移動します。



フロントカバーを開ける。



7 高さ調整ハンドルをメディアに応じて調整する。

・下表を参照してレバーの位置を調整してください。





レンジ	ヘッド高さ
Low	2.8mm(出荷時設定位置)
Mid	3.3mm
Hi	3.8mm



9

ヘッドの高さに合わせて、ワイパーを取り付 ける。

	レンジ	ワイパー
	Low	ワイパー(品番:SPC-0843)
	Mid	
	Hi	HiGap 用ワイパー(品番:SPC-0850)
	・必ずないドの言さに合わせたロイパーをご使用イ	

- ・必ずヘッドの高さに合わせたワイパーをご使用く ださい。ノズル抜けや混色などの吐出不良の原因 となります。
 - ワイパーを変更した場合、ワイパー使用回数はリ セットされます。



自動的にキャリッジがステーションに戻ります。





終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。



 ヘッドの高さを調整したときは、必ずドット位置 補正を行ってください。
 (27) P.2-12



2




(

・
トーを押して、メディア幅を検出する。 15

メディア幅を検出します。 ・マシン設定の「メディア残量表示」の設定が"ON" の場合 (22 P.3-15)、メディア幅の検出後メディ ア残量入力画面が表示されます。(公P P.2-8)

16

巻取装置にメディアを固定する。 (@P.2-8)

- (1) [▼] キーを押して、巻取装置の紙管に
- 届くまでメディアをフィードする (2) 粘着テープでメディアの中央を固定する
- (3) 同様にしてメディアの左右を固定する ・ロールメディアを左右均等に引っ張り、メ ディアにタルミ、シワが無いことを確認し、 テープを貼ってください。



端面ガイドについて

巻き取ったロールメディアの端面が、横方向ヘズレだすこ とがあります。そのような場合は、端面ガイドを使用する ことで、横方向へのズレを防ぎます。

端面ガイドの位置を調整して固定します。

端面ガイドのセット位置は、プリント前のロール メディアの直径によって異なります。下記の表を 参考に調整してください。

端面ガイドセット位置
1mm
3mm
5mm





原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。 変更したい位置へLEDポインタを移動させて決定します。



- [▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させ て選びます。
- プリント原点を決定したら、(ENTER)キーを 3 押す。
 - 原点が変更されます。

原点設定位置の目安

プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカッ ト溝から奥側約75mmの位置になります。

横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。設定 メニューの「マージン」(公PP.3-7)により変更できます。 また、ジョグキーを使って変更することもできます。



ヒーターの準備をする

ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度設定は、設定メニューの「ヒーター」で変 更・保存できます。(22 P.3-6)

ここでは、設定モードで設定した温度の変更方法について 説明します。

お使いになるメディアに合わせて、ヒーター温度を設定し てください。25℃環境のとき、各ヒーターの推奨温度は、 以下になります。

温度
30 °C
40 °C
40 °C

お買い上げ時、ヒーターの温度設定は "OFF" になってい ます。

プリント中も温度を調整することができます。

周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分か ら数十分かかることがあります。 設定した温度の ±3 ℃に到達すると、プリントすることが できます。



ローカルで(SEL)キーを押し、(FUNC2) (HEATER) を押す。



ヒーター温度調節画面を表示されます。

▲ ▼ ● ▶ を押して、各ヒーターの 温度を設定する。

ヒーターの選択:[◀][▶] で選ぶ 温度の設定: [▲][▼] で設定

 ヒーターが加熱されます。ヒーターの温度が設定 値に到達すると、ディスプレイのヒーターのアイ コンが緑色に変わります。



・手順2で[FUNC3] (OFF) を押すと、全 ヒーターが "OFF" になります。 また、[FUNC1] を押すと、POST1/ POST2 ヒーターが 10℃ ずつ上がりま す。

3 終了するとき、(ENTER)キーを押す。

ローカルに戻ります。

使用環境における注意事項



•本機は、20~30°Cの環境で使用してく ださい。周囲の温度条件により、設定値 まで温度が上昇しない場合があります。



ローカルで、(FUNC2) (TEST PRINT/CLEANING)を 押し、(ENTER) キーを押す。
 ・テストプリントの配置方向選択画面が表示されます。
を押して、テストパターン(スキャン方向/フィード方向)の配置方向を選択する。

- ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも 反映されます。
- ・配置方向を"スキャン方向"から"フィード方向" に変更してテストプリントを実行すると、1 つめ のテストプリントの位置に改行されます。

N ENTER キーを押す。

・テストプリントを開始します。
・プリントが終わると、ローカルに戻ります。

プリント結果を確認する。

・正常な場合は、操作を終了します。
 ・異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(公子 P.2-11)

正常なパターン



異常なパターン



テストプリントと同時に、プリンター名称、FW Ver、プリント日時、本機シリアルナンバー、イン クタイプが印刷されます。その他の表示は、サー ビス専用です。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合 わせたクリーニングを行います。 次の3種類から選んでください。

ノーマル:線の抜けがある時

- :ヘッドワイプのみ実行したい時(線の曲がりが ソフト ある場合)
- ハード :ノーマル、ソフトでクリーニングを実行して も画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッ ドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリ ントの結果によって使い分けてください。



フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り 量を補正してください。

補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るな ど、きれいにプリントできない場合があります。



・ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を 終了すると、プリント原点位置までメディアが戻 り、本機背面のロールメディアにたるみが生じま す。

プリントを開始する前にロールメディアを手で巻 き戻し、たるみのない状態にセットしてくださ い。画質不良の原因になります。

・巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじ めメディアをセットした状態でフィード補正を 行ってください。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行 います。

すべてのプリント条件にこの設定が適用されます。

 補正パターンでは2本の帯をプリントします。 ・2本の帯の境が均等の濃さになるように調整して



	メディアをセットする。	
--	-------------	--

• P.2-5「ロールメディアをセットする」

ローカルで(SEL)キーを押し、(FUNC1) (ADJUST) を押す。

調整メニューが表示されます。

(ENTER) キーを押す。



・ONになっているときは、(FUNC1)を押してOFFに

補正パターンを確認し、補正値を入力する。

- ・補正値の入力画面が表示されます。 ・"+"に入力すると:
- 2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- 2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1 mm 帯が移



ドットの位置がずれたら

プリント時の条件(メディアの厚み/インクの種類など) が変わったときは、次の操作をして双方向(Bi)プリント 時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得 られるようにしてください。

パターンプリント例





プリントを開始する



1

 ロールメディアを使用する場合、プリントを開始 する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみ のない状態にしてください。画質不良の原因にな ります。





2

コンピュータからプリントするデータを送信 する。

・状態表示ランプが点滅し、プリント条件が表示されます。

データの送信方法については、出カソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、次の操作をしてください。



プリント中に、(FUNC3) (LOCAL) を押す。

- ・プリント動作を中止します。
 ・コンピュータからデータを送信している場合は、 コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度 [REMOTE] キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。



プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去し てください。



・受信データを消去し、ローカルに戻ります。

メディアをカットする

操作パネル上のキーを使い、任意の位置でメディアをカットします。

1 □ーカルで、▲ ▼ (◆) を押す。 ・原点設定モードになります。

 ・原只設定モートになります。
 ・[▼] を押して、カットする位置までメディアを フィードします。



第3章 セットアップ



この章では ...

本機の各種設定方法について説明しています。

ローカル設定メニューについて	3-2
設定メニューー覧表	3-2
使い方に合わせた最適なプリント条件	を登録す
る	3-4
フィード補正の設定	3-4
ドットの位置がずれたら	3-5
ヒーターの設定	3-6
ロジカルシークの設定	3-6
重ね塗りの設定	3-7
乾燥時間の設定	3-7
マージン (左 / 右) の設定	3-7
プリント中リフレッシュ	3-8
吸着ファンの設定	3-8
フィード速度の設定	3-8
オートクリーニングの設定	3-9
外部ヒーターの設定	3-9
MAPS4 の設定	3-9
パス間濃度補正	3-10
プリフィードの設定	3-10
設定タイプ名称の変更	3-11
マシン設定メニューについて	3-12
マシン設定メニュー一覧表	3-12
オートパワーオフの設定	3-15
巻取ユニットの設定	3-15
トップブロワの設定	3-15
メディア残量表示の設定	3-15
メディア検出の設定	3-16
言語の設定	3-16

	時刻の設定	3-16
	単位(温度/長さ)の設定	3-16
	キーブザーの設定	3-17
	確認フィードの設定	3-17
	プリント間の余白の設定	3-17
	余白フィード方式の設定	3-17
	ネットワークの設定	3-18
	イベントメール機能の設定	3-18
	自動リモート	3-22
	照明	3-22
	カット前フィード	3-22
	設定した内容を初期状態に戻す	3-23
ノ	ズルチェックメニューについて	3-24
	ノズルチェックメニュー一覧表	3-24
	印刷中チェックの流れ	3-25
	「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時	もの
	印刷動作	3-25
	印刷中チェックの設定	3-26
	自動ノズルリカバリの設定	3-26
	判定条件の設定	3-26
情	報メニューについて	3-27
	情報メニューー覧表	3-27
	情報を表示させる	3-28
	メンテナンス状態を表示する(ローカルガ	イダ
	ンス)	3-28

ローカル設定メニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。



設定メニュー一覧表



 次の各設定項目については、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェアからプリント時に指定した設定値に 従って動作するように設定できます。

- ・設定項目:ロジカルシーク/重ね塗り/乾燥時間/マージン(左右)/吸着ファン/フィード速度
- ・各項目を"ホスト"に設定すれば、RIPの設定内容に従って動作します。本機での設定を優先させたいときは、"ホスト" 以外に設定してください。
- ・RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

ł	機能名称	設定値	RIP から指 示がない場 合 ^{*1}	概要
フィード補正		-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999		メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
(@P.3-4)	プリント条件別 フィード補正 (頌 P.3-5)	ON/OFF		異なるフィード条件を持つプリントモード毎に
()		-255 ~ <u>0</u> ~ 255		フィード補正を実施し、補正値を適用することが できます。
ドット位置補正 (22 P.3-5)		-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0		往復プリントにおける、着弾位置の調整を行いま す。
ヒーター (② P.3-6)	POST1	$20{\sim}50~{ m °C}$ / OFF		タレーターの温度を設定します
	POST2	$20{\sim}60~{}^\circ\!\mathrm{C}$ / OFF		
	OFF 時間	<u>無し</u> /0~90分		プリントが終了してから、ヒーターを OFF にす るまでの時間を設定します。
ロジカルシーク (② P.3-6)		<u> </u>	OFF	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。

機能名称		設定値	RIP から指 示がない場 合 ^{*1}	概要		
重ね塗り (22)	P.3-7)		<u> 赤スト</u> /1 ~ 9 回	1 🗆	インク重ね塗りの回数を設定します。
乾燥時間	スキ	ャン	1	<u> </u>	0 sec	インクの乾燥時間を設定します
(@P P.3-7)	プリ	ント	エンド	<u>ホスト</u> /0~120 min	0 min	
マージン/左(Z₽ P	2.3-7))	$\pi7$ / -10 \sim 85mm	0 mm	左右のプリント全白を設定します
マージン/右(ZP P	2.3-7))		0 mm	
プリント中リフ	フレッ	シュ		弱 / 標準 / 強		プリント中のリフレッシュレベルを設定します。
吸着ファン (頌	P.3	6-8)		<u> 赤スト</u> / 弱 / 標準 / 強	33 33	メディアの吸着する力を設定します。
フィード速度*	2 (Æ	^{>} P.3	8-8)	<u> 赤スト</u> /10~200%	100 %	プリント中などにメディア送りをする速度を変更 します。
	OFF 距離	、フ 、時	ァイル、 間			
		ファ	イル 間隔	$1 \sim 1000$		
			タイプ	ノーマルノソフトノハード		プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自
オート		距離	自隔	$0.1 \sim 100.0 \text{m}$		動クリーニング動作を設定します。
(@P P.3-9)			タイプ	ノーマルノソフトノハード		
· · ·		時間	間隔	$10 \sim 120 \text{min}$		
			タイプ	ノーマルノソフトノハード		
	クリーニング チェック		ング後	ON/ OFF		オートクリーニング後にノズルチェックを実行する / しないを設定します。
外部ヒーター((2° F	- .3-9)	ON/OFF		外部ヒーターのオン / オフ を設定します。
	AUTO	C	MAPS MODE	画質優先 / 速度優先		
MAPS4			速度	50 ~ <u>95</u> %		パス問の縞を軽減します
((산) P.3-9)	MANUAL ス レ		スムージング レベル	0 ~ <u>25</u> ~ 100%		
パス間濃度補正 (紀 P.3-10)		<u>OFF</u> /弱/中/強		パス間に周期的な濃淡差が目立つ場合、本設定の 変更で軽減させることができます。		
プリフィード (淀 P.3-10)		<u>OFF</u> / 100 ~ 500mm		メディアの貼り付きやシワを防止のため、プリン ト前にメディアを前後にフィードする長さを設定 します。		
設定リセット (公子 P.3-4)		設定1~4で設定した内容を、	個別にリセ	ットできます。		

*1. 本機で"ホスト"を設定しているのに、RIP ソフトウェア(ホスト)側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プ

リント時に使用される設定値です。 *2. 100% 以上に設定した場合、プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。





E



ヒーターの設定

アフターヒーターには、POST ヒーター1・POST ヒー ター2が内蔵されています。

ヒーターの種類	働き
POST1	メディアの急激な温度上昇を防ぐための予 熱ヒーターです。
POST2	プリントしたインクを乾燥させるヒーター です。

ここでは、各ヒーターの温度設定の他に、プリントが終了 してからヒーターを OFF にするまでの時間も設定できま す。



ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、下図のようにヘッドの動作 が変わります。

ロジカルシーク OFF 時のヘッドの動き



ロジカルシーク ON 時のヘッドの動き













設定タイプ名称の変更

設定タイプの名称を変更できます。



5

マシン設定メニューについて

本機を快適に使用するための各種設定です。 マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。



- FUNC1: マシン設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に 切り替えるときに押す
- (FUNC3):次の画面に切り替えるときに押す
- ∧∨ : 設定項目を選択するときに押す
- (ENTER): 設定を確定するときなどに押す

◆マシン設定メニュー一覧



マシン設定メニュー一覧表

4	機能名称	設定値	内容
オートパワーオフ (従 P.3-15)		しない /10 ~ <u>30</u> ~ 600min	設定した時間操作がない場合、自動で電源を "OFF" にします。
米田コーット	小巻取ユニット	<u>ON</u> /OFF	小巻取ユニットを使用する / しないを設定します。
を取ユニット (企) P.3-15)	小巻取スイッチ	<u>継続</u> /一時	小巻取装置のオン/オフボタンを押したときの動作 方法を設定します。
トップブロワ	ON	<u>AUTO</u> / 強い / 弱い	プリントウクトップブロロク熱作を設定します
((2) P.3-15)	OFF		フリント中のトッフフロウの動作を改定します。
メディア残量 (紹子	P.3-15)	ON / <u>OFF</u>	メディアの残量を管理することができます。
メディア検出	起動時検出	ON / <u>OFF</u>	装置起動時にメディアを検出する / しないを設定し ます。
(VCg F.3-10)	検出速度	<u>高速</u> /標準	メディア検出速度を設定します。
LANGUAGE(CP P.3-16)		日本語 / <u>English</u> / 中文 /Turkce	表示言語を変更します。
時刻設定 (公子 P.3-16)		+4h~-20h(日本時間)	現在の日付と時刻を設定します。
単位 / 温度 (公子 P.3-16)		<u>℃</u> (摂氏)/ °F(華氏)	温度の表示単位を設定します。
単位 / 長さ (沿 P.3-16)		<u>mm</u> / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。
キーブザー (② P.3-17)		<u>ON</u> / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。

機能名称		設定値		内容
確認フィード (公子	° P.3-17)	<u>ON</u> / OFF		テストプリントなどのプリント結果を確認するため にメディアのフィードを行うか設定します。
ページ間余白 (公室	° P.3-17)	<u>無し</u> /10~500mm		プリント間の余白を設定します。
余白フィード方式 (公子 P.3-17)		<u>間欠</u> / 連続		画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変 更します。
	ネットワークの設定をします	t .		
	IP アドレス確認	現在、本機がほ	使用中の IP アド	レスが表示されます。
	MAC アドレス確認	現在、本機が優	使用中の MAC ア	ドレスが表示されます。
	DHCP	ON / OFF		オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP ア ドレスを使用します。
ネットワーク (頌子 P.3-18)	AutoIP	ON / OFF		オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の 場合は DHCP を優先します。
	IP アドレス ^{*1}	本機が使用する	SIP アドレスを	設定します。
	デフォルトゲートウェイ*1	本機が使用する	るデフォルトゲー	-トウェイを設定します。
	DNS アドレス ^{*1}	本機が使用する	る DNS サーバー	のアドレスを設定します。
	サブネットマスク *1	本機が使用する	るサブネットマス	くクの桁数を設定します。
	メール送信 (② P.3-18)	ON / <u>OFF</u>		設定したイベントが起こった際に、メールを送信す る機能を設定します。
		プリント開始	ON / <u>OFF</u>	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定 します。
		プリント終了	ON / <u>OFF</u>	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定 します。
	送信イベント選択 (征) P.3-19)	プロット開始	ON / <u>OFF</u>	プロット開始時にメールを送信する / しないを設定 します。
		プロット終了	ON / <u>OFF</u>	プロット終了時にメールを送信する / しないを設定 します。
		エラー	ON / <u>OFF</u>	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定し ます。
		ワーニング	ON / <u>OFF</u>	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設 定します。
		その他	ON / <u>OFF</u>	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / し ないを設定します。
イベントメール	メールアドレス (役) P.3-19)	イベントメールを送信する メールアドレスを設定しま す。		英数字、記号 (96 文字)
	件名 (從PP P.3-19)	イベントメールの件名に記載 する文字を設定します。		英数字、記号 (8 文字)
		SMTP アドレス		SMTP サーバーを設定します。
		SMTP ポート No.		SMTP のポート番号を設定します。
		送信元メールアドレス		メールの送信元として使用するメールアドレスを設 定します。
			OFF	
	サーバー設定 (役) P.3-19)	認証方式	POP before SMTP	SMTP サーバーの認証方式を設定します。
			SMTP 認証	
		ユーザー名 ^{*2}		認証に使用するユーザー名を設定します。
		パスワード *2		認証に使用するパスワードを設定します。
		POP3 アドレス ^{*3}		POP サーバーを設定します。
		APOP *3		APOP のオン / オフを設定します。
	テストメール送信 (征) P.3-20)	テストメールの送信を実行しま		हे न् र
自動リモート (② P.3-22)		<u>ON</u> / OFF		ローカルでデータを受信すると自動的にリモート モードへ移行し、プリントを開始する / しないを設 定します。

3

t t	機能名称	設定値	内容
照明 (從了 P.3-22)	点灯方式		プリント動作やメンテナンス作業時(カバーオープ ン等)の、点灯 / 消灯方法を設定します。
	点灯延長	無し/1~ <u>5</u> ~10min	"自動"を選んだ場合、プリント動作後点灯などを 継続する時間を設定します。
	起動時点灯	ON / <u>OFF</u>	装置起動時に点灯する / しないを設定します。
カット前フィード (CZP P.3-22)		<u>ON</u> / OFF	メディアカット実行時のメディアフィード動作を無 効化することができます。
リセット (②P P.3-23)			すべての設定項目を初期値に戻します。

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能
 *2. [ニンショウホウシキ] がオフでない場合のみ設定可能
 *3. [ニンショウホウシキ] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定

設定した時間操作がない場合、自動で電源を "OFF" に します。

□ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (2 □) → 1 (ENTER)キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。



3

4

2

4

6

8

 を押して設定。値を選び、 (ENTER)キーを押す

・設定値: しない, 10~600 min

び、(ENTER)キーを押す。

終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

▲) (▼) を押して"オートパワーオフ"を選

巻取ユニットの設定

巻取ユニットの設定では、次の項目を設定します。 ・小巻取装置を使用する / しない

・小巻取装置のオン/オフボタンを押したときの動作

1 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (2 □) ENTER キーを押す。	-
--	---

マシン設定メニューが表示されます。

- ▲ (▼)を押して " 巻取ユニット "を選び、 ENTER)キーを押す。
- ▲) (▼)を押して"小巻取ユニット"を選び、 3 ENTER)キーを押す。
 - (ENTER)キーを押す。 ・"小巻取ユニット"が選択されます。
- ▲) (▼) を押して設定値を選び、 5 (ENTER)キーを押す。
 - ・設定値: ON/ OFF
 - を押し、ENTER キーを押す。

・"小巻取スイッチ"が選択されます。

▲ ▼ を押して設定値を選び、 (ENTER)キーを押す。

・継続: スイッチを押すごとに、巻取動作のオン / オフを切り替えます。(動作中の巻取装置 は、再度オン/オフスイッチを押すまで止 まりません。)

・一時:スイッチを押している間だけ、巻取動作を 行います。(スイッチを放すと、巻取動作 は止まります。)

終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

トップブロワの設定 プリント中のトップブロワの動作を設定します。 トップブロワの設定を "ON" にすると、ブロワの強さを設 定できます。 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (▼) (2 □) → (ENTER)キーを押す。 マシン設定メニューが表示されます。 ▲ (▼)を押して "トップブロワ "を選び、 2 (ENTER)キーを押す。 ▲ ▼ を押して "ON" を選び、 3 (ENTER)キーを押す。 ON : プロワの強さを選べるようになります。 OFF: プリント中にトップブロアは動作しません。 手順6へ進んでください。 ▲ ● を押して"強さ"を選び、 4 (ENTER)キーを押す。 ▲ ▼ を押して設定値(AUTO/強い/弱い) 5 を選び、ENTER)キーを押す。 ・設定値: ON/ OFF 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。 6 メディア残量表示の設定 メディア残量表示の設定をします。 メディア残量表示を リモートでメディア残量が表示されま ON

ON にすると	す。
メディア残量表示を OFF にすると	リモートでメディア残量は表示されま せん。
 ・プリント、 ディア残量 ・メディア長 時に入力し ・ここで行う 行わないと 	JOG キーによるフィード量が、メ に反映されます。 (残量初期値) はロールメディア検出 ます。(公P P.2-8) 設定は、設定終了後にメディア検出を 有効になりません。
	(FUNC1) (MENU) ✦ ▼ (2 回)✦ ーを押す。
	メニューが表示されます。
	を押して " メディア残量 " を選び、 ーを押す。
3	を押して、ON/OFF を選ぶ。
	ーを押す。

- 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。 5
 - ・メディア残量表示の設定を "ON" にする と、現在のメディア残量と日付をリスト にしてプリントできます。(CPP P.2-8)

メディア検出の設定

メディア検出の設定では、以下の項目の設定をします。

起動時検出	"ON"にした場合、本機起動時に自動的にメ ディアの検出を行います。
検出速度	検出方式を変更します。 "高速"の場合、検出センサーの通過するメ ディア上にプリントデータがある場合など、 検出に失敗する場合があります。 メディア検出に失敗する場合や、メディア押 さえの自動検出を行いたくない場合など"標 準"に設定します。

起動時検出

1	ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ (2 回)→ (ENTER) キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。
2	(FUNC3) (>>) を押す。
3	▲ ▼ を押して " メディア検出 " を選び、 ENTER キーを押す。
4	▲ ▼ を押して " 起動時検出 " を選び、 ENTER キーを押す。
5	▲ ▼ を押して、"ON/OFF"を選び、 ENTER キーを押す。
	•設定値:ON/OFF ON:起動時検出あり OFF:起動時検出なし
6	終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。
検出	速度の設定
1	ローカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (2回)→ ENTER キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。
1	ローカルで、(FUNC1) (MENU) ◆ ▼ (2 回)→ ENTER キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。 (FUNC3) (>>) を押す。
1 2 3	 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (2回)→ ENTER キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。 (FUNC3) (>>) を押す。 ▲ ● を押して "メディア検出 "を選び、 ENTER キーを押す。
1 2 3 4	 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (2回)→ ENTER キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。 (FUNC3) (>>) を押す。 ▲ ● を押して "メディア検出 "を選び、 ENTER キーを押す。 ▲ ● を押して "検出速度 "を選び、 ENTER キーを押す。
1 2 3 4 5	 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (2回)→ ENTER キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。 (FUNC3) (>>) を押す。 ▲ ▼ を押して "メディア検出 "を選び、 ENTER キーを押す。 ▲ ▼ を押して "検出速度 "を選び、 ENTER キーを押す。 ▲ ▼ を押して、"高速 / 標準 "を選び、 ENTER キーを押す。
1 2 3 4 5	 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (2回) → ENTER キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。 (FUNC3) (>>) を押す。 ▲ ▼ を押して "メディア検出 "を選び、 ENTER キーを押す。 ▲ ▼ を押して "検出速度 "を選び、 ENTER キーを押す。 ▲ ▼ を押して、"高速 / 標準 "を選び、 ENTER キーを押す。 ・設定値:高速 / 標準 高速: メディア押さえ自動検出有り 標準: メディア押さえ自動検出無し
1 2 3 4 5	 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (2回)→ ENTER キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。 (FUNC3) (>>) を押す。 ▲ ▼ を押して "メディア検出 "を選び、 ENTER キーを押す。 ▲ ▼ を押して "検出速度 "を選び、 ENTER キーを押す。 ▲ ▼ を押して、"高速 / 標準 "を選び、 ENTER キーを押す。 ・設定値:高速 / 標準 高速: メディア押さえ自動検出有り 標準: メディア押さえ自動検出無し → → ・ 「高速"を選んだ場合、検出センサーの 通過するメディア上にブリントデータが ある場合など、検出に失敗する場合があ ります。

終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。 6 言語の設定

表示言語を変更します。

2

□ーカルで、FUNC1 (MENU) ◆ (2 □) ◆ 1 (ENTER)キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。

(FUNC3) (>>) を押す。





終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。 5

時刻の設定

お使いの国に合わせた時刻(時差)に設定することができ ます。

1	ローカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (2 回)→ (ENTER) キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。
2	(FUNC3) (>>) を押す。
3	▲ ▼ を押して " 時刻 " を選び、 ENTER キーを押す。
4	▲ ▼ ● を押して時刻を入力し、 ENTER キーを押す。
	•時分の選択:[◀][▶] C選ぶ •時分の入力:[▲][▼]で入力
5	終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。
	- ↓ · -20 ~ +4 時間の間で、設定できます。 - ↓ ↓ -

単位(温度/長さ)の設定

本機で使用する単位を設定します。



マシン設定メニューが表示されます。

(FUNC3) (>>) を押す。 2

3

1

▲ ▼ を押して " 単位 / 温度 " または "単位/長さ"を選び、(ENTER) キーを押す。











・テストメールの送信結果は、本機がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。

- メールが宛先に届いたことを示すものではありません。 ・メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届 かない場合があります。
- ・テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードが表示されます。
- ・エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- ・サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	 ・装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 ・装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 ・装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	・正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできま せん	 POP サーバーのアドレスを確認してください。 装置が DNS を利用することのできる環境であることを 確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	 POP サーバー設定を確認してください。 ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	• POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	 ユーザー名とパスワードを確認してください。 APOP の設定を確認してください。 認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできま せん。	 SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 装置が DNS を利用することのできる環境であることを 確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	 SMTP サーバー設定を確認してください。 SMTP ポート番号を確認してください。 ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されま した または応答がありません	 SMTP サーバーの設定を確認してください。 SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	 ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません または、無効なメールアドレスです	 ・メールアドレスを確認してください。 ・メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
22000 22008	SMTP 認証エラー	・認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	 ユーザー名とパスワードを確認してください。

"****" はメールサーバーから返答されたエラーコード

8 自動リモート ローカルでデータを受信すると自動的にリモートモード へ移行し、プリントを開始する機能です。 9 □ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (2 □) → 1 ENTER)キーを押す。 マシン設定メニューが表示されます。 10 (FUNC3) (>>) を押す。 2 3 (ENTER)キーを押す。 を押して、ON/OFF を選び、 4 1 ENTER)キーを押す。 • ON : ローカルでデータを受信すると自動的に REMOTE へ移行しプリントを開始しま ▼ を押して、"機内照明点灯切替"を選び、 2 す。 • OFF: REMOTE キー押下でリモート移行しプリ ント開始します。 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。 5 照明 機内 LED 照明は、天井部とメンテナンススペースの2箇 きます。 所に設置されています。

照明の設定

1	ローカルで、(FUNC1) (MENU) → ▼ (2 回)→ ENTER キーを押す。 ・マシン設定メニューが表示されます。	
2	(FUNC3) (>>) を押す。	
3	▲ ▼ を押して " 照明 " を選び、 ENTER キーを押す。	
4	 ▲ ▼ を押して " 点灯方式 " を選び、 ENTER キーを押す。 	
5	▲ ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。	
	 ・自動:プリント動作やメンテナンス作業時(カバーオープンなど)に伴い、自動的に点灯・消灯します。 ・手動:任意に点灯・消灯したい場合に使用します。手動を選んだ場合は、手順6に進んでください。 	
6	▼ を押して " 点灯延長 " を選び、 ENTER キーを押す。	
7	▲ ▼ を押して設定値を選び、 ENTER キーを押す。 ・設定値: 無し/0~10min	

▼)を押して " 起動時点灯 " を選び、 (ENTER)キーを押す。

(▲) (▼)を押して ON/OFF を選び、 (ENTER)キーを押す。

・ON:本機起動時に点灯させたい場合 ・OFF:本機起動時に点灯させたくない場合



機内照明の点灯切り替え

ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC1) (ADJUST)を押す。

調整メニューが表示されます。

- (ENTER)キーを押す。 • (ENTER) キーを押すたびに、機内照明の点灯 /
 - 消灯が切り替わります。

カット前フィード

メディアカット (CPP P.2-13 「メディアをカットする」)の 実行時、プリント結果を任意の場所でカットすることがで



- ・自動フィードをオフにすると、プリント結果の 後端を切り落としてしまう可能性があります。

□ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (▼) (2 □) → (ENTER)キーを押す。



- (FUNC3) (>>) を押す。 2
- 🔺 💌 を押して"カット前フィード"を選 3 び、(ENTER)キーを押す。
- ▲ ▼ を押して、ON/OFF を選び、 4 ENTER)キーを押す。
 - ・ON :カット動作前に自動的にフィード動作を 行います。
 - OFF: 自動フィードせず、(ENTER) キーを押し た位置でメディアカットが実行されます。



5

• RasterLink6 などでオートカットを指定 した場合は除きます。

終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す。

設定した内容を初期状態に戻す

「設定」「メンテナンス」「マシン設定」で設定した内容を、 お買い上げ時の状態に戻します。



□ーカルで、FUNC1 (MENU) → (2回)→ ENTER キーを押す。

マシン設定メニューが表示されます。



(FUNC1) (<<) を押す。



▲ ▼ を押して "リセット"を選び、 (ENTER)キーを押す。



5

ENTER キーを押す。・設定を初期化します。

終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

ノズルチェックメニューについて

ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します。



FUNC1 : 情報メニューを選ぶときに押す
 FUNC3 : 次の画面に切り替えるときに押す
 ジ : 設定項目を選択するときに押す
 ENTER : 設定を確定するときなどに押す

◆ノズルチェックメニュー一覧



ノズルチェックメニューー覧表

機能名称		設定値	初期値	概要	
印刷中ノズルチェック (②予 P.3-26)		ON/OFF	OFF	オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、設定 します。	
(ON)	チェック 間隔	距離	$0.1 \sim 100.0 \text{m}$	30.0m	設定した距離毎にノズルチェックを行います。 ^{*1}
		ファイル	1~100 ファイル	30 ファイル	設定したファイル数毎にノズルチェックを行います。
	復旧動作	クリーニング	ソフト/ノーマル /ハード	ソフト	復旧動作時に行うクリーニングの種類を設定します。
		リトライ回数	0~3 🗆	0 🗆	設定回数分、リトライ動作を繰り返します。
自動ノ	ズルリカバリ	J (🕼 P.3-26)	ON/OFF	OFF	自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。
判定条件 (②P P.3-26) 1		1~200 ノズル	1ノズル	色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判 定するか設定します。(1 ノズル列最大 16 本) *2	

*1. プリントの途中で設定した距離に達した場合は、次のプリント開始時にノズルチェックを行います。
 *2. プリント条件により、ノズルリカバリが適用されない場合があります。

印刷中チェックの流れ

プリント開始時に以下の流れでノズルチェックを行います。



「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作

●「ノズル抜け」と判定された場合

→ プリントを停止します。

● ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合 → 印刷を停止し、自動的に「印刷中ノズルチェック」を "OFF" に設定します。エラーから復旧後は、再度「印刷中ノズル チェック」の設定を行ってください。

印刷中チェックの設定

オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、 ON に設定します。



3

4

5

6

7

11

□ーカルで、(FUNC1) (MENU) → (3 □) ◆ ENTER キーを押す。 ノズルチェックメニューが表示されます。 (ENTER)キーを押す。 2 ・"印刷中チェック"が選択されます。 ▲ ▼ を押してONを選び、(ENTER)キー を押す。 ・"チェック間隔"の設定画面が表示されます。 ・ "OFF" を選ぶと、ノズルチェックは設定されませ ん。手順11へ進んでください。 (ENTER)キーを押す。 ▲ (▼)を押して設定項目を選び、 (ENTER)キーを押す。 ・ノズルチェックの間隔を"設定"または"間隔"か ら選びます。 設定: プリントした距離が設定した長さに達す ると、ノズルチェックを行います。 プリントの途中で設定した距離に達した 場合は、次のプリント開始時にノズル チェックを行います。 間隔:プリントしたファイル数が設定した数に 達すると、ノズルチェックを行います。 ▲) (▼)を押して設定値を選び、 (ENTER)キーを押す。 ・手順5で選んだ設定項目により、設定値は異なり ます。 設定: 0.1~100.0m 間隔:1~100ファイル (ENTER)キーを2回押す。

"復旧動作"の設定画面が表示されます。



自動ノズルリカバリの設定

ノズル抜け判定された場合に自動でノズルリカバリした い場合に設定します。



判定条件の設定

ノズル抜けの判定条件を設定します。



ノズルチェックメニューが表示されます。

- ▼ を2回押し、(ENTER)キーを押す。 2 • "判定条件"が選択されます。
- ▲ ▼ を押して色を選び、 ENTER キー 3 を押す。

 インクセットにより、色の種類は変わり ます。



▲)(▼)を押して判定ノズル数を設定し、 ENTER)キーを押す。

5

終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す。

情報メニューについて

本機の装置情報を確認できます。 確認できる装置情報は、次の項目です。



- FUNC1: 情報メニューを選ぶときに押す
 FUNC3: 次の画面に切り替えるときに押す
 (へ) : 設定項目を選択するときに押す
- (ENTER):設定を確定するときなどに押す

◆情報メニュー一覧



情報メニューー覧表

項目		内容		
	ワイピング情報	ワイピングした回数が表示されます。		
	廃インクタンク情報	廃インクタンクに溜まっている廃インクが何%になっているか、目安が表示されま す。		
使用状況	プリント長情報	今までプリントした長さが表示されます。		
	プリント面積情報	今までプリントした面積が表示されます。		
	使用時間	今までの使用時間が表示されます。		
	スパウトゴム	スパウトゴムの使用時間が表示されます。		
バージョン		装置のバージョン情報が表示されます。		
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴が表示されます。 【▲】【▼】を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り 替えて表示します。		
リスト		装置の設定内容をプリントします。		

情報を表示させる



ワイパー寿命

NG
第4章 お手入れ



この章では…

日常行っていただくお手入れ方法やインクカートリッジのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

\square	常のお手入れ	4-2
	お手入れ上のご注意	. 4-2
	メンテナンス洗浄液について	. 4-2
	外装のお手入れ	. 4-2
	プラテンの清掃	. 4-2
	メディアセンサーの清掃	. 4-3
	メディア押さえの清掃	. 4-3
	吹付フィルターの洗浄	. 4-4
	インクパックのメンテナンス	. 4-4
Х	ンテナンスニューについて	4-5
	メンテナンスメニュー一覧表	. 4-6
+	ャッピングステーションのメンテナンス.	4-7
	ワイパーの清掃	. 4-7
	キャップの清掃	. 4-8
	キャップ吸収材の清掃	. 4-8
	ノズル洗浄	. 4-9
	インク排出路の洗浄	4-10
	長期間使用しない場合	4-10
	ッド周辺の清掃	4-12
ノ	ズルリカバリ機能	4-13
	設定値をリセットする	4-14
	リカバリできない条件を確認する	4-14
	テストプリント時にノズルリカバリを有効	にす

るか設定する	. 4-15
オートメンテナンス機能	4-15
リフレッシュ間隔を設定する	. 4-15
クリーニング間隔とタイプを設定する	. 4-16
消耗品の交換	4-16
ワイパーを交換する	. 4-16
ワイパークリーナーを交換する	. 4-17
キャップを交換する	. 4-18
キャップ吸収材を交換する	. 4-18
メディア押さえを交換する	. 4-19
ピンチローラーを交換する	. 4-20
スパウトゴムを交換する	. 4-21
キャリッジフィルターを交換する	. 4-22
MBIS オスコネクタ吸収材を交換する	. 4-23
吹付ファンフィルターを交換する	. 4-23
カッター刃を交換する	. 4-24
端面ガイドフィルムを交換する	. 4-24
廃インクタンクの管理	4-25
廃インク量の補正	. 4-25
タンク容量の変更	. 4-25
廃インクタンク確認メッセージが表示され	ったら
4-25	
廃インクタンクを交換する	. 4-25

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使 用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	 ・メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
	 本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。 また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	 本機の内部に水気が入らないようにしてください。 内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
0	 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用(出力)されないときには、定期的に微量のインクを吐出(フラッシング)させる必要があります。 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、右側面の主電源スイッチは ON(の状態)およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
\bigcirc	 ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、 アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。 ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。 故障する恐れがあります。 メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したも のをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
昇華転写インク:Sb610	洗浄液 03 メンテナンスキット (ML003-Z-K1) [別売]

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で 薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞ってから拭き取ってくだ さい。





本機の内部に水気が入らないようにしてください。 内部が濡れると、感電および破損する原因になり ます。

プラテンの清掃



主電源を切り、電源ケーブルを抜いてからメンテ ナンスをしてください。

汚れたまま使用を続けると、メディアが正しくフィードで きなくなったり、ヘッドノズル面にごみや固まったインク をこすり付けて、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりな ど)の原因となります。





 メディア押さえをスライドする溝やメディアカットする溝は、特にごみがたまりやすい場所です。 丁寧にごみを取り除いてください。

メディアセンサーの清掃

メディアセンサーは、背面側のリアカバーとキャリッジ底面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いて ください。



ヘッド下面



メディア幅センサー

 \bigcirc

メディアセンサー付近にあるカッターには触らないでください。刃先が鋭利になっているため、怪我の原因となります。

● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは



メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ]>[キャリッジアウト] >[メンテスペースまで移動]を選択して、 [ENTER]キーを押す。

キャリッジがメンテナンススペースに移動します。



メンテナンスカバーを開く。



メディアセンサーを清掃する。



メディア押さえの清掃

- ・主電源を切り、電源ケーブルを抜いてからメンテ ナンスをしてください。
 - 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中 性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってく ださい。



本機の内部に水気が入らないようにしてください。
 内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリ ント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコ リ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなる ことがあります。

メディア押さえは、定期的に清掃してください。



・インクがメディアの端面に付着して汚してしまう
 場合は、必ず清掃してください。

インクが頻繁に付着する場合は、吸着ファンを"弱
 "または"標準"に設定することをお勧めします。

吹付フィルターの洗浄

吹付ファンフィルターが汚れた場合、またはディスプレイ にワーニングメッセージ " 吹付ファンフィルターを洗浄 (水洗)してください " が表示されたら、洗浄 (水洗い)し てください。

● 吹付ファンフィルターお手入れの目安

2 週間毎	汚れた場合、洗浄(水洗い)してください。	
3か月毎	交換してください。	



インクパックのメンテナンス

・メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



1

- インクは定期的に振ってご使用ください。インク を定期的に振らないとインクが沈降しプリント品 質が低下するおそれがあります。
- インクカートリッジは、弊社推奨のものをご使用 ください。
- ・水性昇華転写インクは、1週間に1回程度振って ください。

(本体画面に1週間に1回実行を促す画面が表示されます。)



 使いかけのインクパックをご使用される場合は、 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、
 紙タオル等でインクパックのコネクタ部をおさえた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に20回以上振ります。



MBIS(オプション)の脱着回数は計10
 回以内としてください。



- ・強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクパックが縦になるまで傾けてください。



メンテナンスニューについて

本機のメンテナンスをするための各種設定です。 メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。



- (FUNC1) : マシン設定メニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に
- FUNC2 : メンテナンス機能を使用するときに押す
 - : 次の画面に切り替えるときに押す
- FUNC3 : 設定項目を選択するときに押す
- $\bigcirc \bigcirc$: 設定を確定するときなどに押す (ENTER)

切り替えるときに押す

◆ メンテナンスメニュー一覧



◆ (FUNC2)キーを押したときの画面遷移



メンテナンスメニューー覧表

項目			設定値	内容
	キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。			
	キャリッジアウト	プラテン右端ま で移動 (⁽²⁾ P.4-7)		キャップ周辺やワイパー等の清掃を行います。
	(ŒP P.4-7)	メンテスペース まで移動 (征) P.4-12)		プリントヘッド周辺を清掃します。
ステーション メンテ	ノズル洗浄 (従了 P.4-9)		1 \sim 99min	ノズル面をメンテナンス洗浄液で浸し、ノズル抜け や曲がり等の復旧を行います。
	ポンプチューブ洗浄 (役予 P.4-10)			吸引ポンプチューブの洗浄を行います。
	保管洗浄 (從了 P.4-10)		1 \sim 99min	本機を長期間使わないときに行います。あらかじめ ノズル洗浄と排路洗浄を行い、本機を快適な状態に 保ちます。
	ワイパー交換 (② P.4-16)			ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー 交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用 回数がリセットされます。
	ノズル洗浄等をしてもノズル抜け等が復旧しない場合、他のノズルを使用してプリントします。			
	プリント			パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしてい るノズルを確認します。
	登録			" プリント " で確認した不良ノズルを登録します。
(@P.4-13)	リセット			登録した不良ノズルをリセットします。
	チェック			登録された不良ノズルがリカバリ可能かチェックし ます。
	テストプリント		ON/OFF	テストプリント時にノズルリカバリ機能の設定を行 うか選びます。
	各種メンテナンス機能を自動的に行います。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。			
	リフレッシュ		お使いのインク	リフレッシュ動作の間隔を設定します。
オートメンテ ナンス (頌子 P.4-15)	クリーニング間隔		種によって、設 定値が異なりま す。	ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。
	タイプ		ソフト/ノーマル /ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイ プを設定します。
	廃インクタンク量リセ	ット (ᢙ P.4-25)		廃インクタンクの使用カウントをリセットします。
廃インクタンク (公子 P.4-25)	廃インク量補正 (ご) F	2.4-25)		廃インクタンクのカウント値と実量の誤差を修正し ます。
	タンク容量 (CPP P.4-25)			廃インクタンクの容量を設定します。





8

清掃が終了したあとに、「ENTER」キーを押す。

正面カバーを閉めて、[ENTER] キーを押す。

初期動作後、手順1の表示に戻ります。

キャップの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃される ことをお勧めします。



・キャップの汚れがひどい場合は、新しいキャップ と交換してください。(CPP P.4-18) • 清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らな いように注意してください。繊維が残っている と、プリント不良の原因になります。



メンテナンスメニューが表示されます。



キャリッジがプラテン上に移動します。



フロントカバーを開ける。



4

キャップゴムを清掃する。

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス 洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取り ます。
- ・メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取っ てください。



6

正面カバーを閉めて、[ENTER] キーを押す。 ・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

キャップ吸収材の清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃される ことをお勧めします。



 キャップ吸収材の汚れがひどい場合は、新しい キャップ吸収材と交換してください。(22 P.4-18)



ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ ンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

 メンテナンスメニューが表示されます。 2

[ステーションメンテ]>[キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動] を選択して、 [ENTER] キーを押す。 キャリッジがプラテン上に移動します。

フロントカバーを開ける。



キャップ吸収材を清掃する。 4

- ・キャップ吸収材に付着したインクを、ペーパータ オルなどで押さえるように拭き取ります。
- キャップカバーが汚れている場合は、清掃してく ださい。



清掃が終了したあとに、[ENTER] キーを押す。 5 正面カバーを閉めて、[ENTER] キーを押す。 6 初期動作後、手順1の表示に戻ります。



インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを 防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。



 インク排出路の洗浄を行う前に、必ず洗浄カート リッジがセットされていることを確認してください。洗浄カートリッジがセットされていない場合 は、手動で洗浄液を満たす必要があります。

ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ



ンス]を選択して、[ENTER] キーを押す。 ・メンテナンスメニューが表示されます。



[ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を押し、洗浄するヘッドを選択して [ENTER] キーを押す。

キャリッジがプラテン上に移動します。



 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的に洗浄 液をキャップに満たします。



フロントカバーが閉まっていないと、自動的に洗浄液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



洗浄液カートリッジが有効でない場合
 は、自動的に洗浄液がキャップに満たされません。

フロントカバーを開け、スポイトを使っ てメンテナンス洗浄液をキャップー杯に 満たしてください。 洗浄液を満たしたら、手順7からの操作 をしてください。





終了メッセージが表示されたら、フロントカ バーを開け、キャップに満たされている洗浄 液の量を確認する。



 洗浄液がキャップー杯になっていない場合は、ス ポイトを使ってメンテナンス洗浄液をキャップー 杯に満たしてください。





フロントカバーを閉め、[ENTER] キーを押す。

長期間使用しない場合

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、 ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてくだ さい。その後、本機を保管してください。



・主電源は、常時「オン」でお使い下さい。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
 ・主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください

- [ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか? ・洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。 このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出してい ると、洗浄動作が行えなくなります。
- インクエンド等、未検出のインク IC チップに交換してく ださい。
 - ・ワーニングメッセージ " 廃インクタンク確認 " が 表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況 に応じて 25 ページの「廃インクタンク確認メッ セージが表示されたら」を参照して操作をしてく ださい。
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ ンス]を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。



キャリッジがプラテン上に移動します。

3 ディスプレイに"ワイパークリーニング"の表示が出たら、フロントカバーを開ける。

ワイパーを清掃する。

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突 起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 を含ませて清掃する メンテナンス洗浄液は、残らないように拭 き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む





ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用してお りますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。 スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホ コリが付着することがありますので、クリーンスティック などでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル 部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具		
・ヘッド周辺用クリーンスティック(品番:SPC-0527)		
・保護メガネ	• 手袋	



- ・清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋 を着用して作業を行ってください。インクが目に 入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に 入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してくだ さい。



- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ ンス1を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。



[ステーションメンテ]>[キャリッジアウト]> [メンテスペースまで移動]を選択し、[ENTER] キーを 押す。

キャリッジがプラテン上に移動します。



メンテナンスカバーを開ける。







ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ ンス]を選択して、[ENTER] キーを押す。 メンテナンスメニューが表示されます。 [ノズルリカバリ]>[チェック]>を選択して、 [ENTER] キーを 押す。 ・ 判定条件入力画面が表示されます。 判定条件 解像度 720 x 720 パス 8 標準 スキャン速度 MAPS4 > 重ね塗り 1 ↓ 判定条件の各項目を、現在お使いの状態に合 わせる。 (1) [▲][▼]を押して変更する項目を選び、 [ENTER] キーを押す (2) [▲][▼]を押して設定値を変更し、 [ENTER] キーを押す (3) (1)(2) を繰り返し、全ての項目を設定する [FUNC2] キーを押す。 ・設定したプリント条件でノズルリカバリできる か、チェックを始めます。 ・チェックが終わると、画面に判定結果が表示され ます。 ノズルリカバリ 判定結果 可能な場合 OK 判定結果 ノズルリカバリ 不可能な場合 判定結果 NG 1 HEAD1-A 0 HEAD1-B 0 HEAD1-C 2 HEAD1-D 1 HEAD1-E 0 HEAD1-F 0 HEAD1-G 0 HEAD1-H HEAD2-A 0 ヘッド番号と リカバリできな ノズル列 いノズル数



終了するとき、[END/POWER] キーを数回押 đ,

⁻ストプリント時にノズルリカバリを 有効にするか設定する

以下の設定を "ON" にし、かつ P.4-13「ノズルリカバリ機 能」でリカバリするノズル番号を登録しておけば、テスト プリントをする(CPP P.2-10)ときにノズルリカバリ機能が 有効になります。



- [ノズルリカバリ]>[テストプリント]>選択し 2 て、[ENTER] キーを押す。
- 3

4

ON/OFF を選択して、[ENTER] キーを押す。

終了するとき、[END/POWER] キーを数回押 す。

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナン スを行うように設定できます。 ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定しま

す。

定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰ま りなどのトラブルを防止することができます。

(オートメンテナンス機能)

オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。



機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設 定します。
クリーニング間隔	クリーニングを実行するまでの間隔を設 定します。
タイプ	クリーニングタイプを設定します。



・ワーニングメッセージ "廃インクタンク交換"が 表示されている場合、オートメンテナンス機能で 設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-25の操作をしてください。

・装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃 インクタンクの確認をしてください。

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出 する間隔を設定します。

メンテナンスメニューが表示されます。



ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ ンス]を選択して、[ENTER] キーを押す。



[オートメンテナンス]>[リフレッシュ]選択



4

す。

して、[ENTER] キーを押す。



リフレッシュ間隔を設定し、[ENTER] キーを

・設定値:お使いのインク種によって、設定値が異 なります。



クリーニング間隔とタイプを設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間 隔を設定します。



ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナ ンス] を選択して、[ENTER] キーを押す。

メンテナンスメニューが表示されます。



"クリーニング間隔"または"タイプ"を選択し、[ENTER] キーを押す。

3 設定値を選び、[ENTER] キーを押す。キーを 押す。

・タイプの設定値 :ノーマル / ハード

4 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押 す。

消耗品の交換

部品の汚れがひどい場合や、破損、変形した場合は、サプ ライ品をご利用ください。 消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い 求めください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。 https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。ディスプレイにワーニングメッ セージ"ワイパー交換"が表示されたら、速やかにワイ パーを確認・交換してください。

ヘッドの高さによって、使用するワイパーが異なります。

レンジ	ワイパー
Low	ワイパー(品番:SPC-0843)
Mid	
Hi	HiGap 用ワイパー(品番:SPC-0850)



SPC-0843

SPC-0850

- 0
- ださい。ノズル抜けや混色などの吐出不良の原因 となります。 ・ワイパーを変更した場合、ワイパー使用回数はリ

・必ずヘッドの高さに合わせたワイパーをご使用く

 ワイハーを変更した場合、ワイハー使用回数はリ セットされます。



は必ず交換してください。 ・ワイパーは別売品です。お近くの販売店、または 弊社営業所でお求めください。



メンテナンスメニューが表示されます。



キャリッジがプラテン上に移動します。



4-16



キャップを交換する キャップ(品番: SPC-0842)は消耗品です。汚れや傷、 またはクリーニングしてもノズル抜けが変化しない場合 (吸引不良)は、交換してください。 S ・下記のようにキャップのフチに傷、破損がある場 合は必ず交換してください。 新しいキャップを取り付ける。 6 ・切り欠きを手前にして、カチッと音がするまで確 実にはめ込みます。 ・キャップは別売品です。お近くの販売店、または 弊社営業所でお求めください。 Þ. 交換が終了したら、[ENTER] キーを押す。 7 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ 1 ンス]を選択して、[ENTER] キーを押す。 メンテナンスメニューが表示されます。 フロントカバーを閉め、[ENTER]キーを押す。 8 初期動作後、手順1の表示に戻ります。 [ステーションメンテ]>[ワイパー交換]>[Ζ キャリッジアウト]>[プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER] キーを押す。 キャリッジがプラテン上に移動します。 キャップ吸収材を交換する フロントカバーを開ける。 3 キャップ吸収材(品番:SPC-0845)は消耗品です。汚れ がひどい場合やキャリッジからインクがボタ落ちする場 合は、交換してください。 ورو ورو محمد ا ・キャップ吸収材は別売品です。お近くの販売店、 または弊社営業所でお求めください。 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナ 1 ンス]を選択して、[ENTER] キーを押す。 メンテナンスメニューが表示されます。 キャリッジ [ステーションメンテ]>[キャリッジアウト]> 2 [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER] キャップを外す。 4 キーを 押す。 キャップの突起を押し込みながら、上に引き抜き キャリッジがプラテン上に移動します。 ます。 フロントカバーを開ける。 3 I.



5

メンテナンス用洗浄液を塗布する。

用洗浄液を1、2滴塗布してください。

スポイトを使って、**手前の穴にのみ**メンテナンス





スパウトゴムを交換する

エコケースには、2L インクパックからのインク漏れ低減 のために、スパウトゴムが実装されています。 スパウトゴムはサプライ品です。(品番:SPA-0317) 交換時期(半年)をワーニングでお知らせします。ワーニ ングが表示されたら、スパウトゴムを交換してくだ さい。



 2Lインクパックを交換するときは、必ず付属の 保護メガネと手袋を着用してください。誤って、 インクが目に入る可能性があります。

 スパウトゴムは、8 セットすべて同時に交換して ください。

 使用環境や使用条件により、スパウトゴムが半年 以内に劣化する場合があります。写真のように中 央のすき間が広がった場合、ワーニングメッセー ジにかかわらず交換してください。



初期





・ワーニング表示以外で交換する場合、下記の手順
 でカウンタをリセットしてください。

- (1) ローカルモード画面で、[MENU] > [情報]を 選択し、[ENTER] キーを押す
- (2) [使用状況]を選び、[ENTER] キーを押す
- (3) [FUNC3] キーを押す
- (4) 下記が表示されたら、[ENTER] キーを押し て、カウンタをリセットする





2L インクパックを取り出す。





スパウトゴムを取り外す。
 ・ペーパータオル等でおさえながら、2L エコケースのはめ込み穴からスパウトゴムを押し出します。





新品のスパウトゴムをエコケースの外側から 取り付ける

- スパウトゴムの位置決め突起をエコケースの凹み 位置に合わせて挿し込んでください。
- 取り付けるとき、ゴムの向きに注意してください。
 スパウトゴムが均等に納まるまでゴム全体を満に
- 押し込んでください。



 スパウトゴム全体をたわませると、ケースの外側 から挿し込みやすくなります。





リブが納まっていない状態。 リブが溝に正しくはまって いないと、スパウトゴムの 破損につながります。

- 5 スパウトゴム表面をメンテナンス液で十分に 湿らせる。
 - メンテナンス液はインク種にあったものを使用してください。
 - スパウトゴムを湿らさずにインクパックと本機台 座に差し込むと、ゴムが破損する恐れがあります。



ゴム内側

キャリッジフィルターを交換する

キャリッジフィルター(品番: SPC-0844)は、汚れたら 交換してください。



キャリッジフィルターは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

・装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッ



- チを切る場合、必ず、装置前面にある [END/ POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプ レイ表示が消えていることを確認してから主電源 スイッチを切ってください。
- ・装置側面にある主電源スイッチを切って電源ケー ブルを抜いてから交換してください。











5

電源スイッチを入れる。

フロントカバーを閉る。

(1) 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に 倒す。

 電源をオンにするとファームウェアのバー ジョンを表示し、初期動作を実行します。

(2) [END/POWER] キーを押して電源を入れる。

MBIS オスコネクタ吸収材を交換する

2L インクパック交換時、定期的(5~10回)にオスコネ クタ吸収材 (付属品)を交換することで、台座内の汚れを 防止することができます。



・ 付属品が終了したら、お近くの販売店、または弊

台座についているレバーを押し下げ、2L エコ ケースを取り外す。





オスコネクタ吸収材を取り外す。





新しいオスコネクタ吸収材を取り付ける。



2L エコケースを取り付ける。 4

吹付ファンフィルターを交換する

吹付ファンフィルター(品番:SPC-0856)が汚れた場合、 またはディスプレイにワーニングメッセージ " 吹付ファ ンフィルターを交換してください"が表示されたら、速や かに吹付ファンフィルターを確認・交換してください。

交換の目安は、3か月に1回程度です。











3



新しいファンフィルターを取り付け、ファン フィルターカバーを元に戻す。







第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明を しています。

故障かな?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-2
ヒーターの温度が設定値まで上昇しない	5-3
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インクの状態に異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-4
メッセージを表示するトラブル	5-5
ワーニングメッセージ	5-5
エラーメッセージ	5-11

故障かな?と思う前に

故障?と思う前にもうー度確認してください。

対処しても正常に戻らない場合は、

販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



<u>プリントで</u>きない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。 また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



ヒーターの温度が設定値まで上昇しない

基本操作を確認してください。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善し ない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが 発生する (ヘッド移動方向)	 (1) ヘッドクリーニングを行ってください。(公子 P.2-11) (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。(公子 P.4-7) (3)「フィード補正」機能を実行してください。(公子 P.3-4) (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に2重、3重にプレる	(1)「フィード補正」機能を実行してください。(CPP P.3-4)
往復印字でズレが発生する	(1)「ドット位置補正」機能を実行してください。(公PP.3-5)
プリント中にインク滴が落ちる	 (1) ワイパーを清掃してください。(公P P.4-7) (2) インクキャップのクリーニングをしてください。(公P P.4-7) (3) ヘッドの周辺を清掃してください。(公P P.4-12) (4) ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。(公P P.2-11)

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-11の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の項目を確認してください。

- ノズルの洗浄をしてください。(22P P.4-9)
- ノズル面の清掃をしてください。(☞ P.4-12)
- ワイパーの交換をしてください。(囧PP.4-16)
- ノズルリカバリをしてください。(☞ P.4-13)

インクの状態に異常が発生したら

インクの状態に異常が発生したら、LED「赤」が点灯し、ワーニングメッセージが表示されます。 プリント、クリーニングなど、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。 速やかに新しいインクパックに交換してください。



インクの異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
 ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インクの状態の詳細を表示する

次の操作をしてインク状態の異常の内容を確認できます。



ローカルモードで、(ENTER)キーを押す。



(ENTER)キーを押す。

インク漏れが発生したら

ー インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、弊社サービスまたは販売店にサー ビスコールしてください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。 メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

情報を表示するエラー

イラスト	表示	対処方法
	カートリッジをセット インク IC をセット	 インクエンドとなったため、パックとインク IC チップを交換してください。 インク IC チップを正常なものに交換してく ださい。
	<交互表示1> エコケースの記載の説明にしたがってス パウトゴムを全て交換してください <交互表示2> スパウトゴムが劣化するとインクパック からインクが漏れやすくなります	・エコケースのスパウトゴムを交換してくだ さい。
	インクパックを振ってください [ENT]	・インクパックを振ってインクを撹拌してく ださい。
	メディア押さえの位置を確認してくださ い [ENT]	 メディア押さえを正しい位置にセットして ください。 メディア検出センサーが通る位置にプリン ト結果が無いよう、メディアをフィードさせ てください。 MENU>マシン設定>メディア検出>検出速 度 ="標準"に変更してください。

イラスト	表示	对処方法
	<交互表示1> 洗浄液カートリッジを交換してください <交互表示2> 洗浄液がないとクリーニングを失敗しや すくなります	 ・メンテナンス洗浄液カートリッジを交換してください。 ・メンテナンス洗浄液カートリッジをセットしてください。
	ワイパー交換	・ワイパー交換(メンテナンス>ステーション メンテ>ワイパー交換)を実行してくださ い。
	10kg インクタンクのインクを撹拌して ください [ENT]	・10kg インクタンク内のインクを撹拌してく ださい。
	延長ヒーターが外されました 接続を確認してください	・延長ヒーターの接続状態を確認してくださ い。
	延長ヒーターが温度上昇不可 電源を確認してください	 ・延長ヒーターの電源ケーブルの接続を確認 してください。 ・延長ヒーターの電源スイッチを確認してく ださい。

イラスト	表示	対処方法
	延長ヒーターを正しい位置にセットして ください	・延長ヒーターの位置を確認してください。 (上下位置、中途半端な位置にセットされて いないか)
	吹付ファンフィルターを洗浄(水洗)し てください [ENT]	 ファンフィルタカバーを外し、吹付ファン フィルターを洗浄(水洗い)してください。 必ずファンフィルターが乾いてから本機に 取り付けてください。
	吹付ファンフィルターを交換してくださ い [ENT]	 ・ファンフィルタカバーを外し、吹付ファン フィルターを交換してください。

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
実行できません !カバーオープン	カバーが開いているため機能が実行でき ない。	 カバーを閉めてから、機能を実行してください。
実行できません !メディア未検出	メディア未検出のため、機能が実行でき ない。	・メディア検出後に機能を実行してください。
実行できません !メディア ガ アリマセン	メディアがセットされていないため、機 能が実行できない。	
実行できません !プリントデータあり	データを受信しているため機能が実行で きない。	 データクリアを実行後、機能を実行してください。
実行できません 廃インクタンク交換	廃インクタンクのカウントが規定量 (90%)を超えた。	 ・廃インクタンクのインク量を確認してください。 ・誤差補正、または廃インクタンクの交換後に、カウントリセットを実行してください。
実行できません !インクエラーあり	インクエラーが発生しているため機能が 実行できない。	・インクパックまたは 10kg インクタンクとイ ンク IC チップを交換後、機能を実行してく ださい。
インク ニア エンド 1	インクニアエンドが発生しているため、 機能が実行できない。 (UISS 有りの経路は両方ともインクニア エンドとなった場合に表示される。)	
実行できません !10kg 供給ユニット接続	10kg 供給ユニットが接続されていない ため、機能を実行できない。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。

表示	原因	対処方法
実行できません 巻取 リミット ケンシュツ	巻取りテンションバー位置の上限を検出 しているため、機能が実行できない。	 ・巻取りテンションバーを下げてから機能を 実行してください。
実行できません 繰出 リミット ケンシュツ	繰出しテンションバー位置の上限を検出 しているため、機能が実行できない。	 ・繰出しテンションバーを下げてから機能を 実行してください。
実行できません 巻取 動作異常	巻取りテンションバーが下限位置から動 いていないため、機能が実行できない。	・ジョグキーで巻取りユニットが正常に動作 することを確認後、機能を実行してくださ い。
実行できません 繰出 動作異常	繰出しテンションバーが下限位置から動 いていないため、機能が実行できない。	 ジョグキーで繰出しユニットが正常に動作 することを確認後、機能を実行してください。
実行できません 巻取 カバー OPEN	巻取りユニットのカバーが開いているため、機能が実行できない。	 巻取りユニットのカバーを閉めてから、機能 を実行してください。
実行できません 繰出 カバー OPEN	繰出しユニットのカバーが開いているため、機能が実行できない。	 ・繰出しユニットのカバーを閉めてから、機能 を実行してください。
実行できません 巻取ユニット 接続	巻取と繰出の接続が逆になっているため、機能が実行できない。	
実行できません 繰出ユニット 接続	巻取と繰出の接続が逆になっているため、機能が実行できない。	 ・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業
実行できません 巻取ユニット ナシ	巻取りユニットが接続されていないた め、機能が実行できない。	 所、コールセンターにお問い合わせくださ い。
実行できません 繰出ユニット ナシ	繰出しユニットが接続されていないた め、機能が実行できない。	
実行できません 巻取緊急停止スイッチ ON	巻取りユニットの緊急停止スイッチが押 し込まれているため、機能が実行できな い。	 ・巻取りユニットの緊急停止スイッチを解除してから、機能を実行してください。
実行できません 繰出緊急停止スイッチ ON	繰出しユニットの緊急停止スイッチが押 し込まれているため、機能が実行できな い。	・繰出しユニットの緊急停止スイッチを解除 してから、機能を実行してください。
実行できません 巻取ユニット電源	巻取りユニットのインバータの正常状態 が確認できないため、機能が実行できない。	 装置を再起動し、巻取りユニットのインバー タ電源が正常状態であることを確認してから、機能を実行してください。
実行できません 繰出ユニット電源	繰出しユニットのインバータの正常状態 が確認できないため、機能が実行できな い。	 装置を再起動し、繰出しユニットのインバー タ電源が正常状態であることを確認してから、機能を実行してください。
実行できません 巻取リレー溶着	巻取りユニットのリレーが故障している 可能性があるため、機能が実施できない。	 ・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業
実行できません 繰出リレー溶着	繰出しユニットのリレーが故障している 可能性があるため、機能が実施できない。	所、コールセンターにお問い合わせくださ い。
実行できません ワイパー動作不良	ワイパーが正常に動作しないため、機能 が実行できない。	・ワイパー周辺を清掃し、装置を再起動後、機 能を実行してください。

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
クランプ レバー下げてください	クランプレバーが上がっている。	 クランプレバーを下げてください。
メディアセットしてください	メディアがセットされていない。	・メディアをセットしてください。
プリントー時中断	プリントを中断している状態。	 リモートキーを押下してプリントを再開または、データクリアを実行し、中止してください。
廃インクタンク確認	廃インクタンクのカウントが規定量 (80%)を超えている。	 ・廃インクタンクのインク量を確認してください。 ・誤差補正、または廃インクタンクの交換後に、カウントリセットを実行してください。

表示	原因	対処方法
廃インクタンク交換	廃インクタンクのカウントが規定量 (90%)を超えた。	 ・廃インクタンクのインク量を確認してください。 ・誤差補正、または廃インクタンクの交換後に、カウントリセットを実行してください。
!プリント不可 / インク IC	インク IC チップが使用できないため、プ リント不可状態。	・インクパックまたは 10kg インクタンクとイ ンク IC チップを交換してください。
インク期限注意 M	インクが有効期限切れになった(期限切 れから2ヶ月未満)。	 インクパックまたは 10kg インクタンクとイ ンク IC チップを交換してください。
インク期限オーバー M 	インクが有効期限切れになった(期限切 れから 2ヶ月以上経過)。	・インクパックまたは 10kg インクタンクとイ ンク IC チップを交換してください。
エコケースのスパウトゴムを交 換して下さい	エコケースのスパウトゴムが交換時期に なった。	 ・エコケースのスパウトゴムを交換してくだ さい。
インク残量確認	タンク残量が残りわずかとなったため、 確認が必要。(タンク内のインク残量が 25%を下回った。)	 ・必要に応じてインク残量補正を実行してく ださい。
!洗浄液カートリッジ無し	メンテナンス洗浄液カートリッジがセッ トされていない。	 ・メンテナンス洗浄液カートリッジをセット してください。
!洗浄液エンド	メンテナンス洗浄液カートリッジの残量 がない。	 新しいメンテナンス洗浄液カートリッジに 交換してください。
!装置温度 / 高 ** [°] C	環境温度が装置使用可能な温度より高 い。	 インクの吐出に悪影響を及ぼし、正常なプリント結果が得られない可能性があるため、室
!装置温度 / 低 ** [°] C	環境温度が装置使用可能な温度より低い。	温を装置使用可能な温度(20℃~30℃)に 調整してください。
!10kg 供給ユニット接続	10kg 供給ユニットが接続されていない。	 ・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。
巻取 リミット ケンシュツ	巻取りテンションバー位置の上限を検出 している。	・巻取りテンションバーを下げてください。
繰出 リミット ケンシュツ	繰出しテンションバー位置の上限を検出 している。	 ・繰出しテンションバーを下げてください。
巻取 動作異常	巻取りテンションバーが下限位置から動 いていない。	 ジョグキーで巻取りユニットが正常に動作 することを確認してください。
繰出 動作異常	繰出しテンションバーが下限位置から動 いていない。	 ジョグキーで繰出しユニットが正常に動作 することを確認してください。
巻取 カバー OPEN	巻取りユニットのカバーが開いている。	・巻取りユニットのカバーを閉めてください。
繰出 カバー OPEN	繰出しユニットのカバーが開いている。	・繰出しユニットのカバーを閉めてください。
巻取ユニット 接続	巻取と繰出の接続が逆になっている。	
実行できません 繰出ユニット 接続	巻取と繰出の接続が逆になっている。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業
巻取ユニット ナシ	巻取りユニットが接続されていない。	
繰出ユニット ナシ	繰出しユニットが接続されていない。	
巻取緊急停止スイッチ ON	巻取りユニットの緊急停止スイッチが押 し込まれている。	・巻取りユニットの緊急停止スイッチを解除 してください。
繰出緊急停止スイッチ ON	繰出しユニットの緊急停止スイッチが押 し込まれている。	 ・繰出しユニットの緊急停止スイッチを解除 してください。
巻取ユニット電源	巻取りユニットのインバータの正常状態 が確認できない。	・装置を再起動し、巻取りユニットのインバー タ電源が正常状態であることを確認してく ださい。
繰出ユニット電源	繰出しユニットのインバータの正常状態 が確認できない。	 ・装置を再起動し、繰出しユニットのインバー タ電源が正常状態であることを確認してく ださい。

表示	原因	対処方法
巻取リレー溶着	巻取りユニットのリレーが故障している 可能性がある。	 ・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業
緑出リレー溶着	繰出しユニットのリレーが故障している 可能性がある。	所、コールセンターにお問い合わせくださ い。
ワイパー交換	ワイパー使用カウントが規定量を超え た。	 ・メンテナンス・ステーションメンテ・ワイ パー交換を実行し、ワイパーを交換してくだ さい。
ワイパー動作不良	ワイパーが正常に動作しない。	 ワイパー周辺を清掃し、装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
INCU 接続異常	NCU が接続されていない。 NCU のセンサーチェックで正常値を検 出できない。	・装置を再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。
INCU 交換	NCU のセンサー感度が低い。 (*NCU 使用不可)	
NCU カンドチョウセイエラー H	NCUの感度調整に失敗した。 (*NCU使用不可)	 NCUの交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU カンドチョウセイエラー L	NCUの感度調整に失敗した。 (*NCU使用不可)	
INCU インク吸収材交換	NCU の吐出カウントが規定量を超えて いる。 (*NCU 使用可能)	•NCUのインク吸収材交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。
INCU センサー感度低下	NCU のセンサー感度が低下してきてい る。 (*NCU 使用可能)	•NCUの交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターに お問い合わせください。
ピンチローラーの汚れを確認し て下さい [ENT]	ピンチローラーの交換目安時期になっ た。	 ・ピンチローラーの摩耗や汚れを確認し、気に なるときは交換してください。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。((2) P.3-28)

表示	原因	対処方法			
648 インク IC 無し	インクICチップがスロットに挿入されて いない。	 ワーニングが発生しているスロットにイン クIC チップを挿入して下さい。 インクIC チップが正しく挿入されているか 確認してください。 インクIC チップがスロットに挿入されてい てもワーニングが発生している場合、装置を 再起動してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。 			
635/636 インク IC 異常	インク IC チップが正常に読み込めない。	・ワーニングが発生しているインク IC チップ を再挿入してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせください。			
640 インク使用量超過	パック交換と一緒にインクICチップの交換を実施していないため インクICチップの使用量が規定量を超えた。	 ワーニングが発生しているスロットのイン クパックまたは 10kg インクタンクとインク IC チップを交換してください。 			
674 インク種類	インクICチップのインク種類が充填して あるインクと異なる。	 ワーニングが発生しているスロットのイン ク種類を確認してください。 			
表示	原因	対処方法			
----------------------	--	--	--	--	--
631 インクカラー	インクICチップのインクカラーが充填し てあるインクと異なる。	 ワーニングが発生しているスロットのイン クカラーを確認してください。 			
63D インクニアエンド	インクパックまたは 10kg インクタンク のインクが残りわずかになっている。	 ・間もなくインクがなくなります。ご注意ください。 			
63E インクエンド	インクパックまたは 10kg インクタンク のインクがなくなった。				
641/642 期限まで ** 日	インクが有効期限切れになった(期限切 れから 2ヶ月未満)。	・ワーニングが発生しているスロットのイン クパックまたは 10kg インクタンクとインク IC チップを交換してください。			
643 期限オーバー	インクが有効期限切れになった(期限切 れから 2ヶ月以上経過)。				
617 サブタンクセンサ	サブタンクセンサー値を正常に検出でき ない。	・装置を再起動してください。			
618 タンク残量 H	インクを使用してもサブタンク内のイン クが減っていない。	再度表示する場合は、販売店または弊社営業 所、コールセンターにお問い合わせくださ			
63F タンク残量 L	 インク吸引不良が発生している。 多量のノズル詰まりが発生している。 	ι ι ι _ο			
61B インク供給	10kg インク供給 (セミオート/マニュア ル)を実施しても規定量のインクを供給 できなかった。	 10kg インクタンク内に十分なインクがある ことを確認してください。 10kg インクタンクにインク供給パイプが正常にセットされていること確認してください。 10kg インク供給(セミオート/マニュアル)を実施してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 			
676 インク残量確認	タンク残量が残りわずかとなったため、 確認が必要。(タンク内のインク残量が 25%を下回った。)	 ・必要に応じてインク残量補正を実行してく ださい。 			

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。 それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

No.	表示	原因	対処方法			
1	108 HD THERMIS[1234]	ヘッド温度制御に異常が発生した。				
2	108 HD CONNECT[1234]	ヘッドの接続に異常が発生した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたっ			
3	122 CHECK:SDRAM	SDRAM に異常が発生した。	こから再度オンにしてくたさい。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ。			
4	128 HDC FIFO OVER	A … ビ制御甘坂に田尚が発生した	さい。			
5	128 HDC FIFO UNDER	イット前脚塗似に共市が先生した。				
6	129 バッテリ コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	 販売店または弊社営業所、コールセンター にお問い合わせください。 			
7	12a HDC SPEED	のウレブリス波形の思労た検出した	・一度、主電源をオフにして、しばらくたっ			
8	8 130 HD DATA SEQ	ロナリている収形の共高を快山した。	 (から再度オンにしてくたさい。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ 			
9	146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー 異常が発生した。	さい。			

No.	表示	原因	対処方法				
10	151 Main PCB V1R2						
11	152 Main PCB V2R5						
12	153 Main PCB V3R3						
13	154 Main PCB V05	メイン基板の電源系統に異常が発生し					
14	157 Main PCB VTT	た。					
15	16e Main PCB V3R3B						
16	15f HEAD DRIVE HOT						
17	171 NEW HEAD CONNECT						
18	18a Main PCB V_CORE	マイン其応の雪酒に男営が発生した					
19	18c Main PCB V12	「ストノ茎似り电源に共市が先生した。					
20	18e FLS NOT COMP		・一度、主電源をオフにして、しばらくたっ				
21	18f OFFSET START	ロ字している波形の異常を検出した。	てから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営				
22	18f OFFSET END		│ 業所、コールセンターにお問い合わせくだ │ さい。 │				
23	1d9 Main PCB V48-1	メイン基板の電源に異常が発生した。					
24	b1b BaseIO PCB Vpow-s						
25	b1c BaselO PCB V24	Base IO 基板の電源に異常が発生した。					
26	b1d BaselO PCB V24-A						
27	b3f BaselO Unconform	BaselO 基板が認識できない、もしくは 機能制限品 (LC 品) が取り付けられてい る。					
28	b21 SLIDER1 PCB V3R3						
29	b22 SLIDER1 PCB V2R5	スライダ M 基板の電源に異常が発生し					
30	b23 SLIDER1 PCB V1R8	た。					
31	b24 SLIDER1 PCB V1R2						
32	1e6 PRAM サイズフソク	メモリーサイズが不足している。					
33	201 コマンド エラー	プリントデータ以外のデータを受信し た。 または送信したプリントデータに異常が 発生した。	 インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブル 				
34	202 パラメータ エラー	送信したプリントデータに異常が発生した。	を使用してください。				
35	206 プリント モード エラー	プリント不可能な条件のプリントデータ を受信した。	 ・RIP ソフトのプリントデータ出力条件を確認してください。 ・プロファイルを確認してください。 ・再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 				

第5章 困ったときは

NO.	表示	原因	対処方法				
36	304 USB INIT ERR						
37	305 USB TIME OUT	USBの通信に其常が先生した。					
38	307 MCFD ファイル IF エラー	印刷条件データへのアクセス中に異常が 発生した。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたっ 				
39	401 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	ー てから再度オブにしてくたさい。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ				
40	402 モーターアラーム Y	Yモーターに過大な負荷がかかった。	さい。				
41	403 X オーバーカレント	Xモーターの過電流エラーを検出した。					
42	404 Y オーバー カレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。					
43	44f マキトリ ロール センサ イ ジョウ	巻軸センサ異常 ・巻軸センサを正しく読めない	 マシン設定の巻取ユニットと巻取テンションバーの設定が"ON"になっていることを確認してください。(公PP.3-15) メディアのセット状態を確認してください。 マニュアル SW で巻取装置が動作することを確認してください。 				
44	48a 巻取不良検出	巻取不良検出 ・小巻取ユニットがメディアを正しく巻 き取りできていない	 ・メディアのセット状態を確認してください。 ・メディアが巻き取られていない場合は、正しく巻き取れる状態に再セットしてください。 				
45	505 メディア ジャム	メディア詰まりが発生した。	 ・メディアを取り除き、再セットしてください。 				
46	509 HDC POSCNT	位置制御に異常が発生した。	 ・一度、主電源をオフにして、しばらくたっ 				
47	50a Y ゲンテン ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	ー てから再度オンにしてくたらい。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ				
48	50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	さい。				
49	50c メディアハバセンサー カ クニン	メディア幅を正しく読むことができな かった。	 ・メディアのセット位置を確認してください。(② P.2-4) ・メディアセンサーの清掃を行ってください。(③ P.4-3) ・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 				
50	516 メディアイチ ミギ スギマス	メディアが範囲外にセットされている。	 ・メディアのセット位置を確認してください。(公子 P.2-4) 				
51	528 ポンプモーター センサ	ポンプセンサ検出エラー	 ・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 				
52	52f キャリッジ 原点 未設定	キャリッジの制御原点位置設定が行われ ていない。	・販売店または弊社営業所、コールセンター				
53	530 ステーション 原点 未設定	ステーションの制御原点位置設定が行われていない。	にお問い合わせください。				
54	536 ステーション ロック	ステーションの動作異常を検出した。	 ・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 				

No.	表示	原因	対処方法				
55	608 インク IC イジョウ	インクパックの IC チップが正常に読め ない。	 インクIC チップが正しく挿入されているか 確認してください。 インク IC チップを挿入しなおしてください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 				
56	627 カートリッジ セット	ー定時間以上インクICチップが挿入され ていないスロットがある。	・インク IC チップをセットしてください。				
57	628 カートリッジ イジョウ	インクパックの IC チップの情報に異常 が生じた。 使用量が規定値を超えている。	 ノズル詰まりがないことを確認してください。 				
58	63c インクザンリョウ ゼロ	カートリッジ残量 0 (インクエンド /4 色 インクセット時のみ)	・新しいインクに交換してください。				
59	64C NCU エラー	何らかの問題により、ノズルチェックが 中断された。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 				
60	650 NCU セツゾクイジョウ	NCU のユニットが接続されていない。	申及表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。				
61	651 NCU コウカン	NCUのセンサー感度が低く、正常にノズ ル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	•NCUの交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンター にお問い合わせください。				
62	652 NCU ケンシュツエラー (HW)	ノズル抜け、飛行曲りが多発していて、 NCU がインクの吐出を正常に認識でき					
63	653 NCU ケンシュツエラー(マーク)	ない。	・ノブル状態を確認し、ノブル抜け、飛行曲				
64	654 NCU センターイチケンシュツエ ラー	NCUAの計出位業の調整に生助した	りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。				
65	655 NCU トシュツイチケンシュツエ ラー						
66	656 NCU SN チョウセイエラー	センサーの感度調整に失敗した。	 ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 				
67	657 NCU インクキュウシュウザイ コウ カン	NCU のインク吸収剤が満杯になった。	 販売店または弊社営業所、コールセンター にお問い合わせください。 				
68	658 NCU センサー カンド テイカ	NCU のセンサー感度が低下してきている。					
69	65b NCU カンドチョウセイエ ラー H		・NCUの交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンター にお問い合わせください				
70	65c NCU カンドチョウセイエ ラー L	センリーの感度を調整できない。					
71	702 サーミスタ セツゾク	サーミスタ接続異常が発生している。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたっ 				
72	710 ヒーター オンド イジョウ	ヒーターの温度異常を検知した。 本エラー発生後、温度異常が解消されな い場合、強制的に装置電源をオフにしま す。	Cから再度オンにしてくたさい。 再度表示する場合は、販売店または弊社営 業所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。				
73	901 ジッコウ デキマセン	何らかのエラーにより、機能が実行でき ません。	 ローカル画面に戻ってエラー状況を確認し、対処してください。 				
74	902 ミサクズ データ アリ	プリントデータが残っている。	・データクリアを実行してください。 (役) P.2-13)				

No.	表示	原因	対処方法			
75 90d ヘッド センタク ナシ		搭載ヘッドに異常が発生した。	 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 			
76	90f プリント エリア フソク	プリントに必要なメディア幅またはメ ディア長さが足りません。	 ・メディア幅の広い、またはメディア長さが 十分なメディアに交換してください。 ・原点移動によりメディア幅が狭くなってい る場合、原点を右にずらして有効メディア 幅を広げてください。 			
77	91a ヘッド高さ 調整	マシンに保存されているヘッド高さ設定 値と現在のヘッド高さに違いがある。	・ヘッド高さの設定を行ってください。 (頌) P.2-4)			
78	04 PARAM ROM	MAIN 基板 FROM に異常が発生した。	・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。			
79	d09 HD MEMORY [1234]	ヘッド内蔵メモリーに異常を検出した。	● 再度表示する場合は、販売店または弊社宮 業所、コールセンターにお問い合わせくだ さい。			

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*) 000 : メッセージ	・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお 問い合わせください。("000" はエラー No.)





この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクカートリッジのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5

仕様

本体仕様

項目			TS55-1800			
	方式		オンデマンドピエゾヘッド			
ノリントヘッド部	仕様		ヘッドユニット(420 ノズル ×8 列)を2つ搭載			
プリントモード(スキ	ャンxフィート	[*])	360×360dpi/ 480×600dpi/540×360dpi/ 600×600dpi/720x600 ^{*1} / 720×720dpi/ 720×1080dpi			
使用可能インク			9 色 (Y, M, Bl, K, LBl, Lm, Lk, FP, FY)			
インク供給			インクパックからのチューブ供給 インクパック交換方式:2 パック /1 色によるトグル切換供給 (4 色 / 6 色時 : M, BI 7 色時 : M)			
	4 色		Y, M, Bl, K:2L インクパック各色 2 本			
ノンロ家里	6 色		Y, K, LBI, Lm:2L インクパック各色 1 本 M, BI:2L インクパック各色 2 本			
	7 色		Y, K, Bl, LBl, Lm, Lk:2L インクパック各色1本 M:2L インクパック2本			
	8 色		Y, M, Bl, K, LBl, Lm, FP, FY:2L インクパック各色 1 本			
	種類		転写紙			
	最大プリン	ノト範囲	1940mm			
	最大幅		1950mm			
	最小幅		210mm			
	厚さ		1.0mm 以下			
	プリント面	D	ロール外側面			
	繰り出し	ロール外径 ^{*2}	Φ250mm 以下			
		ロール重量 ^{*2,*3}	45kg 以下			
使田可能メディア		紙管内径	2 インチまたは 3 インチ			
		ロール外径 ^{*2}	端面ガイド未使用時: Φ250mm 以下 端面ガイド使用時: Φ200mm ~ Φ120mm 以下 (端面ガイドの取り付け 位置によって変わります)			
		ロール重量 ^{*2,*3}	45kg 以下			
	巻き取り	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ			
	2040	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着			
		巻きズレ	~ Φ120 : ± 1 mm ~ Φ170 : ± 3 mm ~ Φ 200 : ± 5 mm (端面ガイド使用時)			
プリントマージン	ロールメラ	ディア	左右 : 15.0 mm (デフォルト値) 前 :120 mm 後 : 150 mm			
	絶対精度		±0.3 mm または指定距離の ±0.3 % の大きい方			
距離精度	再現性		± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1 % の大きい方			
直角度			± 0.5 mm / 1000 mm			
メディアスキュー			5 mm 以下 / 10 m			
ヘッド高さ調整			Low (2.8mm) / Mid (3.3mm) / High (3.8mm)			
メディア裁断			ヘッド部カッターによる Y 方向カット, 裁断精度(段差)0.5 mm 以下			
排紙			ロール巻取装置標準(内巻き/外巻き切り替え可能)			
廃インクタンク			ボトル式 (2000 cc)			
	印刷データ	7 転送機能	USB 2.0 Hi-speed、Ethernet 1000BASE-T			
インターフェイス	メール機能		Ethernet 10 BASE-T / 100 BASE-TX / 1000BASE-T			
コマンド			MRL- V			
	待機時					
騒音	動作連続音	.	65 dB 以下			
	動作不連續		70 dB 以下			
	あたいために日		-			

	項目	TS55-1800		
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, IEC62368-1 準拠 ETL、CE マーキング (EMC 指令、機械指令、RoHS 指令、低電圧指令), CB レポート , RoHS 対応 , Energy Star, RCM, EAC		
電源仕様		単相 AC100 ~ 120/ 200 ~ 240V 12A/8A 50/60Hz		
消費電力		1440W (AC100 - 120V), 1920W (AC 200~240V 時) 以下		
	使用可能温度	20 °C~ 30 °C		
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)		
≣∿⊊⊺≝∔ ≏	精度保証温度	20 °C~ 25 °C		
<u> </u> 政	温度勾配	±10℃/h以下		
	粉塵	オフィス相当		
	最高動作高度	2000 m		
重量		202 kg		
	幅	3240mm		
外形寸法	奥行き	713mm		
	高さ	1857 mm		

*1. 6、7、8 色インクセットは非対応
*2. メディア巻き取り後の外形および重量
*3. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。

インク仕様

項目		昇華転等	豪インク	
形態		2L インクパック		
ブラックインクパック (K)ライトブラックインクパック (Lk)ブルーインクパック (Bl)蛍光イエローインクパック (FY)マゼンタインクパック (M)蛍光ピンクインクパック (FP)イエローインクパック (Y)ライトブルーインクパック (LBI)ライトマゼンタインクパック (Lm)		ライトブラックインクパック (Lk) 蛍光イエローインクパック (FY) 蛍光ピンクインクパック (FP)		
インク容量		2L		
有効期限		有効期限は、インクパックに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても1ヶ月以内。		
保存温度	保存時	10~35℃(1日の平均気温) ・容器は密閉した状態で保管すること。 ・乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。		
	輸送時	0~40℃ ・0℃より低温になる場所、40℃より高温になる場所は避けること。		



・インクパックや 2L エコケースを分解したり、インクを詰め替えないでください。 インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。

・水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管して ください。

インク種によるセットの違いについて

ご使用になるインク種によって、設定値やインクカートリッジのセット順が異なります。

インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。

・インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。
 ・



4 色モデル	昇華転写インク	М	М	BI	BI	Y	Y	К	к
6 色モデル	昇華転写インク	М	М	BI	BI	Y	Lm	к	Lbl
7 色モデル	昇華転写インク	М	М	BI	Lk	Y	Lm	к	Lbl
8 色モデル	昇華転写インク	М	FP	BI	FY	Y	Lm	К	Lbl

お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。 下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第3章便利な使い方」の、「情報を表示させる」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(CPP P.3-28)

LICENSE Library

Mimaki printer Firmware

Copyright @2020 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - http://www.ti.com/

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

±31	I リフ
※5 1	お手入れお問いる
E	おねがい
END/POWER +	
	外装のお
IC チップ 1-13 カラー情報 1-13	確認フィ 各部の名 カッ キャ
L	キャ 操作
LAN ケーブル1-9 LED ポインタ2-9	装置 装置 ピン メデ
M	重ね塗り カッター
MAPS4 機能 (AUTO) を設定する	カット前 乾燥時間
MAPS4 機能 MAPS 機能が有効になる条件	
U	キープち キャッヒ イン
USB2.0 インターフェイスケーブル 1-10 USB 2.0 インターフェイスについての注意事項 1- 10	キャ 長期 ノズ ワイ 吸着ファ
あ	
安全インターロック	ケーブル 言点点設定 原点を 記 の記 の 記 の 記 の 記 の 記 の 記 の 記 の 記 の に の の の の
61	
イベントメール機能3-18 イベントメール機能を有効にする3-18 イベントを設定する3-19 インクパック取り扱い上のご注意1-15	故障かな イン イン 画質 電源
<u>え</u>	ノズプリ
エラーメッセージ5-11 エラー履歴3-27	・ メデ メデ ご注意
お	
オートクリーニングの設定3-9 オートパワーオフの設定3-15 オートメンテナンス機能4-15 クリーニング間隔とタイプ4-16	サーバ- 作業の流

リフレッシュ間隔	
お手入れ上のご注意	
お問い合わせシート	
おねがい	0-v

か

外装のお手入れ	4-2
確認フィードの設定	3-17
各部の名称とはたらきについて	1-4
カッター刃とカット溝	1-8
キャッピングステーション	1-8
キャリッジ	1-8
操作パネル	1-6
装置前面	1-4
装置背面 / 側面	1-5
ピンチローラーとフィードローラー	1-8
メディアセンサー	1-8
重ね塗りの設定	3-7
カッター刃の交換	4-24
カット前フィード	3-14
乾燥時間の設定	3-7

き

キーブザーの設定	3-17
キャッピングステーションのメンテナンス	4-7
インク排出路の洗浄	4-10
キャップの清掃	4-8
長期間使用しない場合	4-10
ノズル洗浄	4-9
ワイパーの清掃	4-7
吸着ファンの設定	3-8

け

ケーブルを接続する	 	1-9
言語の設定	 3-17,	3-22
原点設定位置の目安	 	2-9
原点を変更する	 	2-9
牛名を設定する	 	. 3-19

С

故障かな?と思う前に	5-2
インク IC 異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-4
画質不良が発生したときは	5-3
電源が入らない	5-2
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
プリントできない	5-2
メディアが汚れる	5-2
メディア詰まり	5-2
ご注意	0-v

さ

ナーバーを讀	受定する	 	 3-19
乍業の流れ		 	 2-2

 時刻の設定	3-16
自動リモート	3-13
受信障害	0-v
主電源スイッチ	2-3
仕様	6-2, 6-6
インク仕様	6-3
本体仕様	6-2
使用環境温度	1-2
使用状況	3-27
使用時間	3-27
スパウトゴム	3-27
廃インクタンク情報	3-27
プリント長情報	3-27
ノリント面積情報	3-27
リイヒンク情報	3-27
「 「雨牧ノーユー 」 「「「秋ノー」 「「「「秋ノー」」	3-27
「	3-27
「 雨報 ど 衣 小 C じ る	3-28
1977	3-14
府和回り文次	4-10
10別1718に大9	3-23

せ

設置場所について1-	2
設定メニュー3-	2
設定メニューー覧表	2

た

単位(温度/長さ)	の設定	3-16
端面ガイドについて		

っ

使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する 3-4

て

データクリア	. 2-13
データをプリントする	. 2-12
テストプリント	
テストプリントに関する注意事項	. 2-10
テストプリントの前に確認してください …	. 2-10
ヘッドの配列とテストパターンの関係	. 2-10
テストプリントをする	. 2-10
テストメールを送信する	. 3-20
電源ケーブル	. 1-11
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-3
電源を切るときのご注意	2-3
雷波障害自主規制	0-v

登録した内容をリセットする	. 3-4
ドットの位置がずれたら2-12,	3-5

と

トップブロワの設定	
取扱説明書について	0-v

	IC	
いおチンク		4.0

日常のお手人れ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4-2

ね

ネットワーク経由で[印刷を行う	
ネットワークの設定		3-18

の

ノズルチェック	
印刷中チェックの設定	3-26
印刷中チェックの流れ	3-25
自動ノズルリカバリの設定	3-26
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生	時の印刷
動作	3-25
判定条件の設定	3-26
ノズルチェックメニュー	3-24
ノズルチェックメニューー覧表	3-24
ノズルリカバリ機能	4-13
設定値をリセットする	4-14
テストプリント時にノズルリカバリを有効	効にする
か設定する4-15	, 4-25
リカバリできない条件を確認する	4-14

は

バージョン	3-27
パス間濃度補正	. 3-3
パターンプリント2-12,	3-5

ひ

ヒーターの温度設定を変更する	
ヒーターの設定	
標準マージン	

ιŜ١

フィード速度の設定	3-8
フィード補正の設定2-11, 2-12	2, 3-4
プラテンの清掃	4-2
プリフィードの設定	3-10
プリント結果	2-10
プリント条件を登録する	3-4
プリント中にメディア送りを補正したいとき	. 3-5
プリントを開始する	2-13
プリントを中止する	2-13

$\overline{}$

ヘッドクリーニング	2-11
テストプリントの結果に合わ [.]	せてヘッドクリーニ
ングを行う	
ヘッドクリーニングについて	2-11

ヘッ	ド周辺の清掃		 	 4	-12
ヘッ	ド高さを調整す	ね	 	 	2-4

ほ

補正パターン	 3-4
	 · ·
本機の移動・	 1-2
1 1/24 - 2 1/2 245	

ま

マーク表示	0-vi
マージン(左/右)の設定	3-7
巻取装置について	2-8
巻取りユニットの設定3-15,	3-22
マシン設定メニュー	3-12
マシン設定メニュー一覧表	3-12

80

メールアドレスを設定する	3-19
メッセージを表示するトラブル	5-5
メディア押えの清掃	4-3
メディア検出の設定	3-16
メディア残量入力	2-8
メディア残量表示の設定	3-15
メディア残量プリントについて	2-8
メディアセンサーの浩堪	
メディアについて	1_16
市田可能メディアサイブ	1-16
マディア取り扱い上の注音	1 16
イディアなり扱い上の注意	2 13
ハブイア 2/1 ジー 9 3	
	+-2
	1-17
	1-17
ローカルモート	1-17
メノナノノ人洗浄液	
メンテナンスメニュー一覧表	4-6

よ

全白フィード方式の設定	3-17
ホロノイニトリ丸の反応	

り

- リスト

ロール置き台	. 1-4
ロールメディアをセットする	. 2-5
ロジカルシークの設定	. 3-6

ろ

ワーニングメッセージ	
インクエラー	

わ

操作を実行したと	こきに表示されるこ	Lラー5-7
ローカルで表示さ	れるメッセージ	5-8
ワイパーを交換する		

TS55-1800 取扱説明書

2021年5月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
 発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
 〒 389-0512
 長野県東御市滋野乙 2182-3

